

奈良ニ美術學校建設ニ關スル建議案外二件委員
委員長 戸水 寛人君(委員長山本悌二郎君補
劉)

一今十五日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ
第二部選出豫算委員 川副 綱隆君(山道襄一君
補闕)

第三部選出決算委員 岩崎宗茂助君(高木第四郎
君補闕)

第四部選出決算委員 長谷場 敦君(小鹽八郎右
衛門君補闕)

第六部選出決算委員 松井 鉄夫君(古賀三千人
君補闕)

○議長(奥繁三郎君) 會議ヲ開キマス——諮詢事項ガア
リマス、花岡次郎君ハ海外旅行ニ付本月十七日ヨリ本月
二十六日マテ、請暇ノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異
議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」下呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 會議ヲ開キマス、仍テ許可
スルコトニ決シマス——日程第一ハ委員長ヨリ、報告ノ都
合ニヨリ延期ノ申出ガアリマシタカテ、之ヲ許可スルニ御異
議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」下呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、故ニ延期
ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——

鳩山一郎君

第二 簡易生命保険法中改正法律案(政府
提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

一 簡易生命保険法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

大正十一年三月十四日

簡易生命保険法中改正法律案委員長

衆議院議長奥繁三郎殿

鳩山 一郎

(鳩山一郎君登壇)

○鳩山一郎君 簡易生命保険法中改正法律案ノ委員
會ノ經過ヲ御報告致シマス、委員會ニ於キマシテハ、二百
五十圓ノ現在ノ法律ヲ、五百圓ニ何ガ故ニ改正ヲ致サナイ

ノカト云フ點ニ付テ、種々ノ論據ヨリ質問應答ガゴザイマシ
タ、政府ノ之ニ對スル答辯ハ、三百五十圓ニ改正スルコトニ
依テ、死亡率ノ危険ガ豫定率ノ十割以上ニナル故ニ、五
百圓トスルト簡易生命保険ノ基礎ヲ危クスル虞ガアル、第
百圓ニ爲スベシト云フ意見ヲ持テ居ラル、方々ハ、修正案
ヲ御提出ニナシタノデアリマス、委員會ニ於テハ此修正案ハ
少數ヲ以テ否決ニナリマシタ、原案が多數ヲ以テ可決ニナ
タ次第アリマス、此段御報告ヲ致シマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ御
諮詢致シマス

〔「異議ナシ」「異議ナシ」下呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御異議ナシト
認メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス——本案ニ對
シテ修正意見ノ提出ガアリマス、岡本幹輔君

〔「贊成」「贊成」下呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認
メマス、仍テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス——本案ニ對
シテ修正意見ノ提出ガアリマス、岡本幹輔君

〔岡本幹輔君登壇〕

○岡本幹輔君 本員ハ只今議題ニナシテ居リマスル所ノ
簡易生命保険法中改正法律案ニ對シマシテ、茲ニ修正ノ
意見ヲ申上ダタイト思フノデゴザイマス、即チ原案ノ三百
五十圓ヲ五百圓ニ修正スルモノデゴザイマス、茲ニ其理
由ヲ簡單ニ申上ダヤウト恩ヒマス、先年郵便貯金ノ限度ヲ
命保険ノ限度モ、矢張其倍額ノ五百圓ニ改正サレナクテハ
ナラナイト云フコトヲ信ジテ居タ者デゴザイマス、然ルニ此
度政府ノ簡易生命保険法ヲ改正スルニ當リマシテ、二百
五十圓カラ僅三百圓ヲ増加シタル三百五十圓ニ止メラレ
タト云フコトハ、妙カラズ吾々ノ期待ヲ裏切ッタモノデゴザイ
マス、殊ニ私ハ此案ニ對シマシテ、政府カラ参考トシテ配付
サレマシタ所ノ各種ノ材料ニ依テ之ヲ研究シマシテ、益々其
感ヲ深クスル者デゴザイマス、御承知ノ如ク經濟界ノ状勢
ヲ考ヘテ見マスルト、本法施行當時ノ大正五年度ト、最近
ノ物價トノ其指數ヲ比較スルニ、當時ノ百ニ對シテ最近ニ
於テハ二百二十五ニナシテ居ルノデゴザイマス、取リモ直サズ

トナシテ居ルノデゴザイマスカラ、本事業ノ如キ社會政策ノ
一端トシテ施行サレマシタ所ノ事業ニ於テハ、社會ノ狀勢
ニ順應シテ改正サレナクテハナラナイト云フコトハ、申上ダル
マデモナイコトデゴザイマス、之ヲ民間ノ普通生命保険ニ付
テ考ヘテ見マスルト、本法施行當時ノ一口契約高ガ七百
七十圓トナシテ居リマシテ、其金高ガ三百七十九圓ト云
フ增加ニナシテ居ルノデゴザイマシテ、此點カラ見マシテモ、一
般經濟界ガ當時ノ經濟界ト比較シテ、非常ナ相違ガアルト
云フコトヲ認メルモノデゴザイマシテ、簡易生命保険ニ於キ
マシテモ、二百五十圓ヲ増加スルト云フコトハ、寧ロ當然ノ
事ト信ズルノデゴザイマス、又大正九年度加入者ノ年齡ニ
依テ之ヲ研究シテ見マスルト、大正九年度ノ加入者ノ總
計ガ七十八万八千人デゴザイマスガ、此中二十歲未滿ガ
十六万七千人、五十歲未滿ガ五十五万二千人、五十歲
以上ハ六万九千人デゴザイマシテ、二十歲未滿ハ全體ノ二
割一分、五十歲以上ハ九分テゴザイマシテ、殘餘ノ七割ト
云フモノハ、是ハ二十歲カラ五十歲迄ノ丁度人間ノ働キ盛
リデアルノデアリマス、二十歲カラ五十歲マノ人ニ依テ、生計ノ
大部份ト云フモノガ維持サレルノデゴザイマスカラ、若モ此
中堅ノ人ノ間ニ一旦不幸ナ事ガアリマシタナラバ、一家ガ
取敢ズ悲慘ノ狀態ニ陷ラナケレバナラヌノデゴザイマス、ソレ
デゴザイマスカラ、現在ノ經濟狀態ニ於キマシテハ如何ニ中
流以下ニ於キマシテモ、三百五十圓ノ儲カノ金高ニ依リマ
シテ、此窮境ヲ救フト云フコトハドウカト考ヘルノデゴザイマ
シテ、此ニ五百圓ニ修正スル理由ガ存スルノデゴザイマス、
次ニ過日本案提出ノ際、我黨ノ淺賀長兵衛君カラ質問サ
レマシタニ對シマシテ、泰遞信次官ノ御答辯及委員會ニ於
キマスル所ノ政府委員ノ御答辯ニ徵シテ見マスルニ、三百
五十圓ニ立案シタル理由ト云フモノハ、何等世間ニ言テ
居リマスル所ノ民間ノ營利會社ノ壓迫ニ依リマシテ牽制サ
レタモノアハナク、在來ノ例ニ徵シテ見マスルト、保險金ノ高
イ程體ノ弱い者が多く、隨テ本事業ノ如キ、無検査デ加入
出來ル仕組ノ保險デヘ、金高ヲ引上ゲレバ體ノ弱い者ガ多
ク如人スルコトニナシテ、本事業ノ基礎ヲ危クスルト云フノガ
第一ノ理由ニナシテ居ルノデゴザイマスカラ、是ハ私ガ政府カラ

ルノアルカラ、以前ノ二百五十圓ハ略、今ノ五百圓ニ該當スルデハナイカト云フ意見デ、是ハ一應尤ニヤウニ思ハレマスケレドモ、此物價ノ騰貴ト云フコトハ、戰時戰後ニ於ケル經濟界ノ膨脹ニ伴フ一時的現象ト見テモ差支ナイト思ヒマス、尤モ之ガ直ニ戰前ノ狀態ニマテ回復スルト云フコトハ私ニ於テモ考ヘラレヌケレドモ、今日ニ於テハ尙ホ物價ハ徐々ナガラ低落ノ傾向ニアルノアリマス、殊ニ亞米利加ノ如キモ、戰時、戰後、非常ト經濟界ノ膨脹ノ際ニ於テハ、二倍三倍ト非常ナル騰貴ヲシタノデアリマスケレドモ、今日ニ於テハ戰前ノ約二割強位ノ増加程度マテ低下シテ居ルノデアリマス、日本ガ今後幾許ノ程度ニマテ之ガ低下スルカト云フコトハ分リマセヌケレドモ、又亞米利加ノソレ程ニハ低落ハ致シマスマイケレドモ、マダ一今日以後低落ノ餘地ハアルト思ヒマス、殊ニ憲政會諸君ノ如キハ、常ニ物價調節ヲ論ジテ、物價ヲ引下ダケレバナラスト云フコトヲ御論ジニナルノデアリマスカラ、今後之ガ實現シタナラバ、其程度ヲ如何ニヨリ五百圓ガ宜イカ、或ハ四百圓ニスルガ相當デアルカ、或ハ三百圓ガ相當デアルカト云フコトニナル譯テ、或ハ三百五十圓モ尚高シト云フコトニナルカモ知レヌ、ソレナラバ三百五十圓說モ理由カナイデハナイカト云フ御説ニナリマセウガ、要スルニ此簡易保險ノ制限ノ如キハ、朝三暮四、上ダタリスルコトガ出來ルモノデハナイ、物價が高クナタリ安クナタリスル度ニ此制限ヲ増減スルコトハ出來ヌノデアルカラ、大凡ノ見當ヲ見定メテ、先ダ此位ガ宜カラウト云ノデ達觀的ニ極メルヨリ外ハナイノデアリマス、今日ノ物價ノ下落ノ傾向カラ考ヘテ、先ダ一百圓增加位ノ程度ガ相當デハナイカト思フノデアリマスカラ、第二ニハ民業ヲ壓迫スルト云フコトハ順序ガ前後致シマスガ、第一ニハ民業ヲ壓迫スルト云フコト中上ダタインデアリマス、是ハ何故カト申シマスト、只今保險會社ハ三百圓以上ノ契約ヲ取ニテ居ルノデアリマス、サウシテ簡易保險ハ二百五十圓以下ノ契約ヲ取ニテ居ルノデアリマスカラ、其間ニ五十圓程ノ間キカアルノデアリマスガ、之ガ若シ五百圓ニ引上ダラレルコトニナリマスト、斯ル代リニナルノデアリマスカラ、千圓ノ領域モ侵サレルコトニナリマス、會社ニ依テハ殆ド立ツベカラザル大打撃ヲ受ケタルシテ、此領分ヲ侵サレルニミナラズ、是マデ度々唱ヘラレタヤウニ五百圓ノモノガ一家一人ニ這入レバ、民營ノ千圓ニ這入ル代リニナルノデアリマスカラ、千圓ノ領域モ侵サレルコトニナリマス、其簡易保險ノ爲ニ增加スルモノガアルダラウト思フノデアリマス、ソレカラモウツハ、保険ト云フモノハ段々高イ所カロ低イ所ニ、取易イ所カロ取リ難イ、易ヨリ難ニ進ム、先ツ世間ニ申ス有ル所カラ取レト申シテ、取易イ資產ノアル者ニ最初ニ勸誘スルノデアリマス、シテ、ソレガ段々發展シテ參リマスト、其資產ノアル階級即

チ沃野ト云フモノハ耕シ盡サレテシマヒマシテ、今日デハ殆ド隅カラ隅マデ、苟モ相當ノ暮シシテ居ル者ニハ皆保險ヲ勤メテ取ニテ居ルノデアリマス、今後ハ比較的財產ノ少イ下層ニ階級ノ方ニ向テ、民營保險ト雖モ發展シテ行カナケレバナヒマス、尤モ之ガ直ニ戰前ノ狀態ニマテ回復スルト云フコトハ私ニ於テモ考ヘラレヌケレドモ、今日ニ於テハ尙ホ物價ハ徐々ナガラ低落ノ傾向ニアルノアリマス、殊ニ亞米利加ノ如キモ、戰時、戰後、非常ト經濟界ノ膨脹ノ際ニ於テハ、二倍三倍ト非常ナル騰貴ヲシタノデアリマスケレドモ、今日ニ於テハ戰前ノ約二割強位ノ増加程度マテ低下シテ居ルノデアリマス、日本ガ今後幾許ノ程度ニマテ之ガ低下スルカト云フコトハ分リマセヌケレドモ、又亞米利加ノソレ程ニハ低落ハ致シマスマイケレドモ、マダ一今日以後低落ノ餘地ハアルト思ヒマス、殊ニ憲政會諸君ノ如キハ、常ニ物價調節ヲ論ジテ、物價ヲ引下ダケレバナラスト云フコトヲ御論ジニナルノデアリマスカラ、今後之ガ實現シタナラバ、其程度ヲ如何ニヨリ五百圓ガ宜イカ、或ハ四百圓ニスルガ相當デアルカ、或ハ三百圓ガ相當デアルカト云フコトニナル譯テ、或ハ三百五十圓モ尚高シト云フコトニナルカモ知レヌ、ソレナラバ三百五十圓說モ理由カナイデハナイカト云フ御説ニナリマセウガ、要スルニ此簡易保險ノ制限ノ如キハ、朝三暮四、上ダタリスルコトガ出來ルモノデハナイ、物價が高クナタリ安クナタリスル度ニ此制限ヲ増減スルコトハ出來ヌノデアルカラ、大凡ノ見當ヲ見定メテ、先ダ此位ガ宜カラウト云ノデ達觀的ニ極メルヨリ外ハナイノデアリマス、今日ノ物價ノ下落ノ傾向カラ考ヘテ、先ダ一百圓增加位ノ程度ガ相當デハナイカト思フノデアリマスカラ、第二ニハ民業ヲ壓迫スルト云フコトハ順序ガ前後致シマスガ、第一ニハ民業ヲ壓迫スルト云フコト中上ダタインデアリマス、是ハ何故カト申シマスト、只今保險會社ハ三百圓以上ノ契約ヲ取ニテ居ルノデアリマス、サウシテ簡易保險ハ二百五十圓以下ノ契約ヲ取ニテ居ルノデアリマスカラ、其間ニ五十圓程ノ間キカアルノデアリマスガ、之ガ若シ五百圓ニ引上ダラレルコトニナリマスト、斯ル代リニナルノデアリマスカラ、千圓ノ領域モ侵サレルコトニナリマス、其簡易保險ノ爲ニ增加スルモノガアルダラウト思フノデアリマス、ソレカラモウツハ、保険ト云フモノハ段々高イ所カロ低イ所ニ、取易イ所カロ取リ難イ、易ヨリ難ニ進ム、先ツ世間ニ申ス有ル所カラ取レト申シテ、取易イ資產ノアル者ニ最初ニ勸誘スルノデアリマス、シテ、ソレガ段々發展シテ參リマスト、其資產ノアル階級即

チ沃野ト云フモノハ耕シ盡サレテシマヒマシテ、今日デハ殆ド隅カラ隅マデ、苟モ相當ノ暮シシテ居ル者ニハ皆保險ヲ勤メテ取ニテ居ルノデアリマス、今後ハ比較的財產ノ少イ下層ニ階級ノ方ニ向テ、民營保險ト雖モ發展シテ行カナケレバナヒマス、尤モ之ガ直ニ戰前ノ狀態ニマテ回復スルト云フコトハ私ニ於テモ考ヘラレヌケレドモ、今日ニ於テハ尙ホ物價ハ徐々ナガラ低落ノ傾向ニアルノアリマス、殊ニ亞米利加ノ如キモ、戰時、戰後、非常ト經濟界ノ膨脹ノ際ニ於テハ、二倍三倍ト非常ナル騰貴ヲシタノデアリマスケレドモ、今日ニ於テハ戰前ノ約二割強位ノ増加程度マテ低下シテ居ルノデアリマス、日本ガ今後幾許ノ程度ニマテ之ガ低下スルカト云フコトハ分リマセヌケレドモ、又亞米利加ノソレ程ニハ低落ハ致シマスマイケレドモ、マダ一今日以後低落ノ餘地ハアルト思ヒマス、殊ニ憲政會諸君ノ如キハ、常ニ物價調節ヲ論ジテ、物價ヲ引下ダケレバナラスト云フコトヲ御論ジニナルノデアリマスカラ、今後之ガ實現シタナラバ、其程度ヲ如何ニヨリ五百圓ガ宜イカ、或ハ四百圓ニスルガ相當デアルカ、或ハ三百圓ガ相當デアルカト云フコトニナル譯テ、或ハ三百五十圓モ尚高シト云フコトニナルカモ知レヌ、ソレナラバ三百五十圓說モ理由カナイデハナイカト云フ御説ニナリマセウガ、要スルニ此簡易保險ノ制限ノ如キハ、朝三暮四、上ダタリスルコトガ出來ルモノデハナイ、物價が高クナタリ安クナタリスル度ニ此制限ヲ増減スルコトハ出來ヌノデアルカラ、大凡ノ見當ヲ見定メテ、先ダ此位ガ宜カラウト云ノデ達觀的ニ極メルヨリ外ハナイノデアリマス、今日ノ物價ノ下落ノ傾向カラ考ヘテ、先ダ一百圓增加位ノ程度ガ相當デハナイカト思フノデアリマスカラ、第二ニハ民業ヲ壓迫スルト云フコトハ順序ガ前後致シマスガ、第一ニハ民業ヲ壓迫スルト云フコト中上ダタインデアリマス、是ハ何故カト申シマスト、只今保險會社ハ三百圓以上ノ契約ヲ取ニテ居ルノデアリマス、サウシテ簡易保險ハ二百五十圓以下ノ契約ヲ取ニテ居ルノデアリマスカラ、其間ニ五十圓程ノ間キカアルノデアリマスガ、之ガ若シ五百圓ニ引上ダラレルコトニナリマスト、斯ル代リニナルノデアリマスカラ、千圓ノ領域モ侵サレルコトニナリマス、其簡易保險ノ爲ニ增加スルモノガアルダラウト思フノデアリマス、ソレカラモウツハ、保険ト云フモノハ段々高イ所カロ低イ所ニ、取易イ所カロ取リ難イ、易ヨリ難ニ進ム、先ツ世間ニ申ス有ル所カラ取レト申シテ、取易イ資產ノアル者ニ最初ニ勸誘スルノデアリマス、シテ、ソレガ段々發展シテ參リマスト、其資產ノアル階級即

チ沃野ト云フモノハ耕シ盡サレテシマヒマシテ、今日デハ殆ド隅カラ隅マデ、苟モ相當ノ暮シシテ居ル者ニハ皆保險ヲ勤メテ取ニテ居ルノデアリマス、今後ハ比較的財產ノ少イ下層ニ階級ノ方ニ向テ、民營保險ト雖モ發展シテ行カナケレバナヒマス、尤モ之ガ直ニ戰前ノ狀態ニマテ回復スルト云フコトハ私ニ於テモ考ヘラレヌケレドモ、今日ニ於テハ尙ホ物價ハ徐々ナガラ低落ノ傾向ニアルノアリマス、殊ニ亞米利加ノ如キモ、戰時、戰後、非常ト經濟界ノ膨脹ノ際ニ於テハ、二倍三倍ト非常ナル騰貴ヲシタノデアリマスケレドモ、今日ニ於テハ戰前ノ約二割強位ノ増加程度マテ低下シテ居ルノデアリマス、日本ガ今後幾許ノ程度ニマテ之ガ低下スルカト云フコトハ分リマセヌケレドモ、又亞米利加ノソレ程ニハ低落ハ致シマスマイケレドモ、マダ一今日以後低落ノ餘地ハアルト思ヒマス、殊ニ憲政會諸君ノ如キハ、常ニ物價調節ヲ論ジテ、物價ヲ引下ダケレバナラスト云フコトヲ御論ジニナルノデアリマスカラ、今後之ガ實現シタナラバ、其程度ヲ如何ニヨリ五百圓ガ宜イカ、或ハ四百圓ニスルガ相當デアルカ、或ハ三百圓ガ相當デアルカト云フコトニナル譯テ、或ハ三百五十圓モ尚高シト云フコトニナルカモ知レヌ、ソレナラバ三百五十圓說モ理由カナイデハナイカト云フ御説ニナリマセウガ、要スルニ此簡易保險ノ制限ノ如キハ、朝三暮四、上ダタリスルコトガ出來ルモノデハナイ、物價が高クナタリ安クナタリスル度ニ此制限ヲ増減スルコトハ出來ヌノデアルカラ、大凡ノ見當ヲ見定メテ、先ダ此位ガ宜カラウト云ノデ達觀的ニ極メルヨリ外ハナイノデアリマス、今日ノ物價ノ下落ノ傾向カラ考ヘテ、先ダ一百圓增加位ノ程度ガ相當デハナイカト思フノデアリマスカラ、第二ニハ民業ヲ壓迫スルト云フコトハ順序ガ前後致シマスガ、第一ニハ民業ヲ壓迫スルト云フコト中上ダタインデアリマス、是ハ何故カト申シマスト、只今保險會社ハ三百圓以上ノ契約ヲ取ニテ居ルノデアリマス、サウシテ簡易保險ハ二百五十圓以下ノ契約ヲ取ニテ居ルノデアリマスカラ、其間ニ五十圓程ノ間キカアルノデアリマスガ、之ガ若シ五百圓ニ引上ダラレルコトニナリマスト、斯ル代リニナルノデアリマスカラ、千圓ノ領域モ侵サレルコトニナリマス、其簡易保險ノ爲ニ增加スルモノガアルダラウト思フノデアリマス、ソレカラモウツハ、保険ト云フモノハ段々高イ所カロ低イ所ニ、取易イ所カロ取リ難イ、易ヨリ難ニ進ム、先ツ世間ニ申ス有ル所カラ取レト申シテ、取易イ資產ノアル者ニ最初ニ勸誘スルノデアリマス、シテ、ソレガ段々發展シテ參リマスト、其資產ノアル階級即

一面、觀察せ爲シ得ルノアリマス、併シ之ヲ以テ三百五十圓不可ナリト云フノデアリマセヌケレドモ、斯様ナ事モ御参考ノ一助ニナラウト思テ茲ニ述ベタノアリマス、ソレカラ第四ニハ不正契約ガ多イト云フコト、金額が多クナレバ多クナル程、高クナレバ高クナル程不眞面目ナル契約ガ多イ、詰リ此簡易保険ノ創設ノ趣旨ニ副ハナイ所ノ性質ノ契約が多クナルト云フ事ヲ述ベタイト思フノデアリマス、是ハ委員會ニ於テ政府委員ガ此說ヲ主張サレテ居リシタヤウデシタガ、其政府委員ノ御説明ニ依リマスト件當保險金五十圓以下ノ契約ハ豫定死亡率ニ對シ約八割死ンデ居ル、此豫定死亡率ト云フノハドウ云フモノデアルカト申シマスト、簡易保険ヲ創設スルニ方々テ、凡ソドレグケノ死亡者ガアルデアラウカ其死亡者ニ支拂フ金額ガドレダケニナルカト云フ計算ノ基礎ニナルモノアリマス、詰リ簡易保険事業ノ基礎ニナル所ノ死亡生殘表ト云フモノガアリマス、人間ハ何歳ノ者ハ平均何年生きテ居ル者デアルカ、例ハ五十五歳ノ者ハ平均何十年生きテ居ル、十六歳ノ者ハ平均何十年生き得ル者デアルト云フヤウナ死亡三關スル統計表アル、其簡易保険ニ使シタ統計表ハ、内閣統計局ノ統計表ノ第二號表ノ男子ノ表ニ二割増デ、此表ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレハ無診查デアルガ故ニ、一般ノ國民死亡率デ、保險ニ這入ル者ノ實際ノ死亡率デハナイ、日本國民全體ノ達者ナ者モ、病人モ、弱者モ、健康者モ皆併セ總平均ノ死亡率ノ男子ノ表ニ二割増デ、此表ガ出來テ居ルノデアリマス、ソレハ無診査デアルガ故ニ、一般ノ國民死亡率デハ逃モ追付クマイ、ソレデ一割程之ヲ増シタラ大丈夫デアラウト云フノデ、增加シタ豫定死亡率ニシテアルノアリマス、普通ノ民營ノ方ノ會社デハ、診査ヲシテ健康體ヲ選擇シテ採ルノデアリマスカラ、左様ナニ割増トク、三割増トカ云フコトハ致サヌノアリマス、國民ノ死亡率其モノヲクリ取テ來マスカ、サモナケレ舊い會社ガ實際是マデ經驗シタ經驗表、實驗表ト云フモノ基礎ニ致スノアリマス、近來ハ此國民表ノ方ヲ使シテ居ルモノガ多ウゴザイマスガ、其民間ノ保険業ノ豫定死亡率ヨリモ、政府ノ方ハ無診査デアルガ故ニ、餘計見込ンデアルニモ拘ラズ、政府委員ノ御説明ニ依レバ、五十圓以下ノ契約ハ豫定死亡率ノ八割百圓以内ガ九割二百五十圓以下ノ者ガ十割死ンデ居ル、百割デアリマズカラ丁度豫定死亡率ト同額死ンデ居ル、詰リ百五十圓迄ハ計算ノ基礎ニ少シモ危險ヲ感ジナ立派ニ豫定ト適合シタル程度——尤モ其轉定ト雖モ國民死亡率ヨリハ高いノデアル、ソレカラ二百圓以下ニリマスト、簡易保険ノ此豫想表ヨリモ二割程餘計死ンデ居ルノデアリマス、二百五十圓以上ニナリマスト四割程餘計死ンデ居ルノデアリマス、是カラ推測シテ參リマスルト云フト、政府委員

ノ御見込ダハ、之ガ三百五十圓程度迄上リマシタラバ、凡ソ豫定死亡數ニ對シテ十割程超過スルデアラウ、即チ豫定死亡數ノ二倍死亡スルデアラウト云フコトデアル、若シ三百五十圓デニ二倍モ死亡スルデアラウト云フ推定ガ正鶴ヲ得テ居ルトシマスレバ、五百圓迄引上ゲマシタラバ確カナ事ハ無論申サレマセヌケレドモ、凡ソ三倍位ナ死上率ニナリハシナイカト思フノデアリマス、此二倍ノ死亡率デモ相當ニ私ハ不安ヲ感スルコトデハナイカト思ヒマスルノニ、三倍モ死亡率ガアリマシタラバ、ソレハ事業ノ基礎ニ動搖ヲ來スノハ申ス迄モナイ事デアリマス、隨テ只今ノ施行シテ居ル保険料デハ、到底收支ガ償ハナイ、保険料ヲ二割ナリ、三割ナリ引上ダナケレバナラヌト云フ時期ガ必ズ到来スルノデアリマス、之ニ對シテ先刻岡本君ハソレハ杞憂デアルデハナイカ、現ニ政府ノヤニテ居ル簡易保険ノ成績ガ非常ニ宜シイ、其保険支拂金額ト保険料トノ割合ハ民間ノ其ニ比シテ、六割ニシカ當テ居ラヌデハナイカト云フ御話ガアリマシテ、先刻私ガソレニ對シテ御説明中上ダテ置キマシタガ、ソレガ丁度之ニ嵌マルノデアリマス、決シテ民間ノ六割ノヤウニ少イ死亡デハナイ、民間ノ死亡率ヨリモ遙ニ高率ノ死亡デアリマスカラ、杞憂ドヨロデハナイ、大ニ不安ノ念ヲ懷クノデアリマス、サウシテ此二百圓以下ノ二割、二百五十圓以下ノ四割ノ増加ト云フコトハ、是ハ何故ニ増加ヲシタノデアラウカト云フコトヲ考ヘテ見マスルト、直グニ分ルノデアリマス、弱體ニアラザレバ不正ノ契約デアリマス、弱體ト申シマスルヨリハ、多クハ不正契約デアリマス、其不正契約ガ實際ニ多イト云フ一例ヲ申上ダマス、是ハ決シテ政府當局ガ惡イトカ何トカ云フ意味デハナイノデアリマス、是ハ無診查デアルガ故ニ已ムヲ得ズ斯ウ云フ結果ヲ來スノデアリマスガ、大正八年度ニ於ケル加入後二年以内ニ死亡シタル者ノ統計ヲ見マスルト、死亡診斷書ニ依テ告知義務ノ違反デアル、嘘ヲ申立て、這入シタト云フ、即チ不正契約ト云フコトガハッキリ分テ居ル者ガ、死ンダ總數ノ中ニ二割アリマスガ、ソレカラ死亡診斷書其他ノ調査ニ依テ、告知ノデアリマス、ソレカラ死亡診斷書其他ノ調査ニ依テ、告知不正契約デアリマス、サウシテ告知義務違反ニアラズシテ、少シモ疑ヒノナイ正當ナ契約デアリマス、サウシテ又不正契約ノ疑ヒ多キ者ガ一割四分五厘、疑ヒ少キ者ガ一割八分四厘、即チ不正契約タル疑ノアル者ノ合計ガ全體ノ二割一分九厘アリマス、此合計死者全體ノ四割六分三厘ト云フモノハ不正契約デアリマスサウシテ告知義務違反ニアラズシテ、少シモ疑ヒノナイ正當ナ契約デアリト認メラタモノハ一割五分六厘シカナイノデアリマス、其他自殺トカ、災害其他ノ原因ニ依テ死亡シタル者ガ四分ニ厘アルノデゴサイマス、之ヲ以テ見マシテモ、此無診査デアルガ故ニ如何ニ不正ノ契

約が多いため云ふコトが判るノアリマス、是ハ餘程ノ注意ヲ以テシテモ、尙ほ避クベカラガル結果デアルト言ハナケレバナラスト思フノアリマス、斯様ニ不正契約ガ澤山アルノアリマシテ、只今申上タヤウニ契約金額別件數ノ割合ニ二百圓以内マデ少クナテ、二百五十圓以内ノ所ニ急ニ一躍シテニ一割一分ニ増加ヲシタト云フコトハ、即チ不正契約者ガ其邊リニ多イト云フコトヲ考ヘラレルノアリマス、此意味カラ致シマシテ、若シ之ヲ五百圓ト云フヤウナ金額ニ増加致シマシタナラバ、到底此不正契約者ノ不安ニ堪ヘヌダラウト思ヒマス、若シサウニ云フコトニナリマスト云フトドウ云フ結果ヲ來スカト言ヒマスト、此不正契約者ガ無クテ眞面目ナ契約者許リデアリマスレバ、或ハ此簡易保険ノ成績ガ益進ムニ從テ、相當ニ利益ガ生レテ參リマスト、今ノ保険料ハ低下スル、安クスルコトガ出來ルノアリマス、然ルニ斯様ナ不正契約ガ益多クナルト云フコトニナリマスレバ、低下ドコロデハナイ、却テ保険料ヲ増加セネバ經營上堪ヘ得ナイト云フコトニ立至ルダラウト思ヒマス、ソレカラモウニシタガ、利子ハ一文モ這入テ居ナイノアリマス、大正六年度ニ於テハ年始ノ現在積立金ガ二十九万六千圓、年末ノ積立金ガ百七十一万九千圓、其平均數ガ百万八千圓デアリマシタガ、利子ハ一文モ這入テ居ナイノアリマス、大正九年始現在ノ積立金ガ百七十一万九千圓デアリマシテ、年末現在ノ積立金ガ四百三十六万三千圓、其平均數ガ百万八千圓デアリマシタニモ拘ラズ、此資産ノ運用ニエル利子ノ收入ハ只ノ九錢シナカイノアリマス、ソレカラ大正七年度ニ於テハ年始現在ノ積立金ガ百七十一万九千圓デアリマシテ、年末現在ノ積立金ガ四百三十六万三千圓、其平均數ガ三百四万二千圓デアリマシテ、大正六年ハ是モ九錢デスカラ零デアリマス、大正七年度ニ於テハ一步ナクテ一厘九毛ニシカ當ラナイノアリマス、斯ノ如ク此運用ノ歩合ガ非常ニ惡ルノアリマスカラ、ソレガ皆加入者ノ頭ニ掛チテ参リマス、尤モ大藏省ノマシテ、大正六年ハ是モ九錢デスカラ零デアリマス、大正七年度ニ於テハ一步ナクテ一厘九毛ニシカ當ラナイノアリマス、斯ノ如ク此運用ノ歩合ガ非常ニ惡ルノアリマス出来テ参リマス、是ニヨレバ六年度ガ五厘八毛、其翌七年度ガ二分一厘三毛ノ利廻ニ當リマシテ、九年度ハ三分三厘弱ニナルノアリマス、斯様ニ大正五年カラ七年マデノ利

子ノ收入歩合ハ、殆ド問題ニナラヌ程ノ少イモノアリマシ

タケレドモ、現内閣ガ其局ニ當リマシテ以來、著シク其成績

ガ好運致シマシテ、八年度、九年度ニ至テハ、六年、七年ニ

比シテ非常ナル進境ヲ示シテ居マス、ケレドモマダノ民

間ノ利廻ニ比シテハ、其半バニモ達シナイヤウナ狀態アリ

マシテ、加入者ハ此運用上ニ於ケル損失ト申シマスルカ、不

利益ノ犠牲ヲ拂テ居ルノアリマス、社會政策ナル美名ノ

下ニ是ダケ犠牲ヲ拂テ居ル、加入者ノ負擔ハ隨分重イノ

ニアリマス、若シ之ガ民間ノ保険ノ如ク七分四厘ニモ、八分

ニモ、廻スコトガ出來マシタナラバ、可憐ナル加入者ハマダ今

日ヨリモ遙ニ安イ保険料デ加入スルコトガ出來タコトデア

リマセウニ、洵ニ私ハ御氣ノ毒ニ感スルノアリマス、斯様ニ

隨分負擔ガ多イ、資産ノ運用ニ於テ民間ノ方ヨリモ非常ニ

不利益ト云フ大ナル負擔、大ナル犠牲ヲ拂テ居ル、其上ニ

無診査ニ依テ不正契約者ガ澤山這入ル、爲ニ眞面目ナル

契約者ハ非常ナル損失ヲ來シ、非常ナル犠牲ヲ拂ヒナケレ

ハナラヌト云フコトハ、忍ビ難イ事アリハセスカト思ヒマス、斯様ニ

然ルニ此資産ノ運用ニ依ル所ノ利子ノ收入ヲ今殖サウト

云フテモ、是ハ大シテ今日以上好成績ヲ挙ゲルコトハ出來マ

スマイ、是ヘ制度ノ然ラシム所アリマスカ、少トモ不正契

約ニ依ル所ノ不利益、不正契約ニ依ル所ノ犠牲ヲ成ベク

少クシテ、出來得ベケンバ保険料ヲ安クシテヤリタイ、少クト

モ今後保険料ヲ引上ゲルコトナイヤウニ努メルト云フコト

ガ、最モ必要ナ事ハナイカト思フナアリマス、假ニ五百圓

ニ引上ダマシテ、ソコニ澤山ノ十割二十割ノ不正契約者ガ

出たト致シマスレバ、其五百圓ニ這入ルヤウナ比較的の資産

ノ豊ナル者ノ不正ノ爲ニ、五十圓、百圓ト云フ零細ノ金ヲ

積シダ細民階級ノ者ガ、犠牲ヲ拂ヒ損害ヲ蒙ルト云フコト

ニナリマスカラ、此簡易保険創設ノ趣旨カラ考ヘマシテ所

謂社會政策ノ根本義カラ考ヘマシテ、大ナル矛盾アフルト

恩フノアリマスカラ、五百圓程度ニ増額スルコトハ非常ナ

ル不安ヲ伴フ、不當ノ修正デアルト思フナアリマス、マダ其

經濟狀態ノ關係カラ、少シハ上ニ出シテモ大シタ壓迫ニモ

ナルマイ、又官營ハ、成ベク下層階級ノ者ヲ救濟スル意味ニ

於テ、下ニ發展シテ行クト云フコトガ最モ喜ブヘキ現象アリ

リマスカラ、斯ウ云フ方面ニ進メテ貰ヒタ、其意味カラ

ノ方ヘ餘り擴ゲルノハ宜クナカ、ソレカラ不正契約ノ危險ヲ

避ケテ、眞面目ナル少額契約者タル細民階級ノ犠牲ヲ少

クシテ、保険料ヲ輕クシテヤリタイ、斯ウ云フ論點ガ、私ノ修

正意見ニ反對シテ政府案ニ贊成スル所以アリマス(拍手)

○議長(奥繁三郎君) 採決致シマス、岡本幹輔君ノ修正

案ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(賛成者 起立)

○議長(奥繁三郎君) 起立少數、仍テ修正案ハ否決サレ

マシタ——更ニ本案ノ採決ヲ致シマス、委員長ノ報告ニ御

異議ナキヤ否ヤヲ御諮り致シマス、委員長報告ニ贊成ノ諸

君ノ起立ヲ求メマス

(賛成者 起立)

○議長(奥繁三郎君) 起立多數、仍テ委員長報告ノ通

リニ決シ、第二讀會ヲ終リマシタ

○岩崎動君 直ニ本案ノ第三讀會ヲ開キ、第二讀會決

議ノ通り、即チ委員長報告通り、可決確定アランコトヲ望

ミマス

(賛成「賛成」ノ聲起ル)

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト認

メマス、仍テ直ニ本案ノ第三讀會ヲ開キマス

簡易生命保険法中改正法律案 第二讀會

○議長(奥繁三郎君) 「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案

ハ委員長報告通りニ可決確定致シマシタ

○岩崎動君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致

シマス、即チ第一號大正十一年度歲入歲出總豫算追加

案ヲ議題トナシ、豫算委員長ノ報告ヲ求メ、且ツ其密議ヲ

進メラレシコトヲ望ムマス

(「賛成」「賛成」ノ聲起ル)

○議長(奥繁三郎君) 岩崎君ノ議事日程變更ノ動議ニ

御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(奥繁三郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ

變更サレマシタ——第一號大正十一年度歲入歲出總豫

算追加案ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——

委員長田邊熊一君

第一號 大正十一年度歲入歲出總豫算追加案 加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告

候也

大正十一年三月十五日

豫算委員長 田邊 熊一

衆議院議長 奥繁三郎殿

(田邊熊一君登壇)

○田邊熊一君 只今日程ニ上リマシタ本案ノ豫算委員

會ニ於ケル審査ノ大要及其決定ヲ極テ簡單ニ申スコトニ

致シタイト存シマス、本案ハ高等諸學校創設及擴張ニ關ス

ル經費ヲ提出セラレタノアリマシテ、政府ガ其提出ノ理由

ヲ簡單ニ此處ニ記載シテアリマスカラ、御紹介致シタイト

存ジマス、世運ノ進歩ニ伴ヒマシテ、高等教育機關ノ擴張

整備ヲ要スルモノガアリマシテ、大正十一年度ヨリ大正十

三年度ニ於テ、東京高等工業學校及神戶高等商業學校

大學神戶二商業大學ヲ設置シ東京高等師範學校及廣島

高等師範學校ニ於ケル專攻科ノ組織ヲ變更シテ、新ニ文

理科ヲ内容とする單科大學ヲ設置致シマシテ、又齒科醫學

專門學校ノ創設、既設實業專門學校ニ於ケル專攻科ノ施

設學科增設等ヲ要シ、其外東京外國語學校ノ修業年限ヲ

延長セントスルノガ大體ノ主意アリマス、此爲ニ是等學

校ノ創設擴張ニ伴ヒマシテ、教官ノ養成ヲ圖ルノ必要ガア

リマスノテ、在外研究員ヲ增派セントスル、而シテ之ニ要スル

經費ハ總額千百六十九万二千三百九十五圓アリマ

スガ、之ヲ本年度以降三箇年度ノ繼續費ト爲スニ依リマシ

テ、其本年度ニ要スル經費三百二十九万七千七百圓ヲ要

求セラレタノアリマス之ニ對シマシテ委員會ニ於キマシテハ

精密ニ審査致シマシテ、數日間ニ瓦リマシタガ、質問應答ノ

集中スル所ノモノハ、四五ノ點アリマスカラ、極テ簡略ニ

其質問應答ノ大要ヲ御紹介致シマス、ソレハ教育界ノ大

問題トシテ世間ノ頗る注意ヲ喚起シタ事アリマスカラ、敢

テ無用ノ事アハナカラウト存ジマス、暫く御清聽ヲ煩ハシタ

タケレドモ、現内閣ガ其局ニ當リマシテ以來、著シク其成績

ガ好運致シマシテ、八年度、九年度ニ至テハ、六年、七年ニ

比シテ非常ナル進境ヲ示シテ居マス、ケレドモマダノ民

間ノ利廻ニ比シテハ、其半バニモ達シナイヤウナ狀態アリ

マシテ、加入者ハ此運用上ニ於ケル損失ト申シマスルカ、不

利益ノ犠牲ヲ拂テ居ルノアリマス、社會政策ナル美名ノ

下ニ是ダケ犠牲ヲ拂テ居ル、加入者ノ負擔ハ隨分重イノ

ニアリマス、若シ之ガ民間ノ保険ノ如ク七分四厘ニモ、八分

ニモ、廻スコトガ出來マシタナラバ、可憐ナル加入者ハマダ今

日ヨリモ遙ニ安イ保険料デ加入スルコトガ出來タコトデア

リマセウニ、洵ニ私ハ御氣ノ毒ニ感スルノアリマス、斯様ニ

隨分負擔ガ多イ、資産ノ運用ニ於テ民間ノ方ヨリモ非常ニ

不利益ト云フ大ナル負擔、大ナル犠牲ヲ拂テ居ル、其上ニ

無診査ニ依テ不正契約者ガ澤山這入ル、爲ニ眞面目ナル

契約者ハ非常ナル損失ヲ來シ、非常ナル犠牲ヲ拂ヒナケレ

ハナラヌト云フコトハ、忍ビ難イ事アリハセスカト思ヒマス、斯様ニ

然ルニ此資産ノ運用ニ依ル所ノ利子ノ收入ヲ今殖サウト

云フテモ、是ハ大シテ今日以上好成績ヲ挙ゲルコトハ出來マ

スマイ、是ヘ制度ノ然ラシム所アリマスカ、少トモ不正契

約ニ依ル所ノ不利益、不正契約ニ依ル所ノ犠牲ヲ成ベク

少クシテ、出來得ベケンバ保険料ヲ安クシテヤリタイ、少クト

モ今後保険料ヲ引上ゲルコトナイヤウニ努メルト云フコト

ガ、最モ必要ナ事ハナイカト思フナアリマス、斯様ニ

然ルニ此資産ノ運用ニ依ル所ノ利子ノ收入ヲ今殖サウト

云フテモ、是ハ大シテ今日以上好成績ヲ挙ゲルコトハ出來マ

スマイ、是ヘ制度ノ然ラシム所アリマスカ、少トモ不正契

約ニ依ル所ノ不利益、不正契約ニ依ル所ノ犠牲ヲ成ベク

少クシテ、出來得ベケンバ保険料ヲ安クシテヤリタイ、少クト

モ今後保険料ヲ引上ゲルコトナイヤウニ努メルト云フコト

ガ、最モ必要ナ事ハナイカト思フナアリマス、斯様ニ

テ生ズル所ノ剩餘金ヲ以テ、相當ノ額ヲ支出スルト云フコトハ、豫テ考慮中デアルト云フコトヲ政府ハ機會アル毎ニ屢々、之ヲ聲明シテ居ルノデアリマス、而シテ今回ノ高等教育機関ノ擴張ノ經費ハ臨時費ニアツテ、大部分ハ既定ノ公債財源ニ依ルモノデアルニ依テ、決シテ前後ヲ誤ダモノデナイン。之ヲ要スルニ國民教育ニ對シテハ、我ガ政府ハ十分ニ考慮シ、此發達及完成ニハ努力マルト云フコトヲ言明シテ居ルノデアリマス、次ハ本案ノ如ク優秀ナル専門學校ノ組織ヲ變更シテ大學トスル如キハ、其結果專門學校ヲ廢スルコトガ續々踵ヲ接シテ、遂ニ跡ヲ絶ツノ虞ガアルガドウカ——是ハ極端ノ質問デアリマスガ、遼ニ語氣ノ及ブ所ハソニマデ至ツタノデアリマス、之ニ對シテ政府ハ既設及創設スベキ専門學校ハ合計三十有餘ニ及シテ居ルノデアル、其最モ必要ニ迫ル部分ノ今回組織ヲ變更シタモノデアルガ故ニ、他ハ容易ニ昇格セシムルコトハナイノデアル、故ニ決シテ質問者ノ憂ヘラレルヤウナコトハ無イト云フコトヲ言明シテ居リマス、次ニ今回昇格スペキ大學ハ、實用ヲ主トスルモノナリト言フケレドモ、帝大ト其間幾許ノ差ガアルカ、斯ウ云フ質問デアリマス、之ニ對シテ政府ノ答辯ハ、帝大ハ一般的ニ必要ナルモノナルモ、今回ノ工業大學ハ特殊ノ部門ニ付テ、深キ知識ヲ授ケルコトヲ目的トスルモノナルガ故ニ、其成績ハ必ズ見ルベキモノアルヲ信ズルト云フコトヲ明言シテ居リマス、次ニハ師範大學ヲ必要トスル主ナル理由ハ何アルカト云フニ對シ、政府ノ答辯ハ、現時ノ狀態デハ現在ノ高等師範學校ノ卒業者ヨリモ、一段高イ素養アル良教員ヲ多ク供給スルノ必要アルガ故ニ、其目的ヲ達セントスルニハ、帝大ノ文理科科ニ於テスルヨリモ、今回ノ文理学科大學ノ如キ、殊ニ教育者養成ニ都合好キ大學ヲ設ケルコトヲ必要ト信ジタノデアル、武藤金吉君ヨリ原案全部ニ對シテ賛成ノ動議ヲ提出セラレマシタ、之ニ對シテ憲政會ノ大津淳一郎君ヨリ初等教育ノ發達完成ニ十分ナル施設ヲ見ザルニ先テ、高等教育機關ノ設置ニ同意スルコトハ出來ナイト云フ反對ノ意見ガアリマシタが、ソレニ付テハ、何レ此會議ニ於テ十分ニ意見ヲ闘ハサレルコト、思ヒマスカラ、重複ヲ避ケテ私ハ省略致シマス、結局採決ノ結果大津、湯淺兩君ノ意見、即チ高等師範學校ニ對シテ特別ナル科目ヲ設ケルニ付テ、種々意見ガアリマシタが、又國民黨ノ湯淺凡平君ヨリ其内容ニ於テハ意見ヲ異ニスル所ガアリマスケレドモ、要スルニ反對論ニアグノデアリマス、即チ高等諸學校ノ昇格ニ對シ、若クハ高等師範學校ニ對シテ特別ナル科目ヲ設ケルニ付テ、種々意見ガアリマシタが、ソレニ付テハ、何レ此會議ニ於テ十分ニ意見ヲ闘ハサレルコト、思ヒマスカラ、重複ヲ避ケテ私ハ省略致シマス、結局採決ノ結果大津、湯淺兩君ノ意見、即チ反對論ハ少數デ否決サレマシテ、武藤君ノ原案賛成説ガ

大多數ヲ以テ可決セラレマシタ譯アリマス、願クハ諸君モ直ニ御審議セラレマシテ、本案ニ協賛ヲ與ヘラレントヲ希望致シマス、唯、一言茲ニ申添ヘタイコトハ、本案ハ近時政界ノ問題ト致シマシテ、或ル一部ニハ暗礁ノ如ク唱ヘラレタノデアリマスカ、幸ニ諸君ノ御協賛ヲ得アシテ、通過スルコトガ出来マシタナラバ、吾等ニ此政界ノ暗礁ヲ除去スルノミナラズ、我ガ教育界ノ安定ヲシテ、國民ノ爲ニ沟ニ悦ブ次第ト存ズルノアリマス(拍手)。

○議長(奥繁三郎君) 本案ニ付キマシテ討論ノ通告ガアリマス、順序ニ依テ之ヲ許シマス、下岡忠治君

(下岡忠治君登壇)

○下岡忠治君 本員ハ本追加豫算ニ對シテ反対ノ意見ヲ有スル者デゴザイマスカラ、暫ク其理由ヲ述アル機會ヲ與ヘラレントヲ希望致シマス、只今田邊委員長ノ御話ニナシタ如ク、本案ハ所謂教育界ノ一大暗礁トシテ、昨年來首相及文相ガ寔ニ此問題ニ付テ非常ニ苦心セラレ、餘所ノ見目モ甚ダ御氣ノ毒ナ状況デアッタノアリマスカ、暗礁ハ何處マデモ暗礁デゴザイマス、抑、其出發點ヲ誤リ、方向ヲ誤タ結果此暗礁ニ乗上げテ、必ヤ現内閣ハ是ガ爲ニ覆没スルト云フコトヲ私ハ信ジテ居リマス(拍手)先づ最初ニ第一理由トシテ申シテ見タイ事ハ、教育上ノ施設ノ方針ニ關スル點ニ於テ吾々ハ反対致スノデアル、言フマデモナク此歐洲戦争ノ後ニ於キマシテ、武力ノ戦争ハ下火ニナッタコトデハアルケレドモ、將來平和ノ戦争、貿易ノ戦争ト云フモノが非常ニ激甚ニナルト云フコトヲ御互ニ覺悟致サナクテハ營ノ第一義ハ、普通教育ノ振興ニアルト云フコトハ申スマシテハ、國民ノ全能力ヲ發揮シテ、民族ノ非常ナル發展ヲ圖ルト云フ必要ガアルコトハ勿論ノ事デアル即チ戰後ノ經理ノ第一義ハ、普通教育ノ振興ニアルト云フコトハ申スマシテハ、國民ノ全能力ヲ發揮シテ、民族ノ非常ナル發展ヲ圖ルト云フモナニ事デアルト思フノアリマス、現内閣ハ四大政綱ト云フコトニハ多大ノ金ヲ使ヒ、御手許金マデモ拜領致シテ、又之ヲ實行スルコトニ努メラレテ居ルコトハ、吾々モ多トル所デアル、併ナガラ過去三年間ニ於ケル現内閣ノ教育上ノ施設ト云フモノヲ見マスト、成程高等敎育機関ノ擴張シテ教育ノ振興上云フコトニ銳意スルト云フコトヲ掲ゲラレテ、一大計畫ヲ立テラレタト云フコトハ、是ハ一ノ經綸トシテ吾々モ認メル所デゴザイマス、併ナガラ普通教育ノ方面ニ於テ何ヲヤッタノデゴザイマス、成程小學敎員ノ俸給ヲ殖スガ爲ニ、市町村ノ其負擔ヲ殖スト云フコトモサレマシタ、法律ノ一部改正モヤリ、勅令ナリ省令等ノ改正ヲスルト云フ事ニ付テハ相當ノ事ハヤツテ居ルケレドモ、是ハ教育上所謂尋常茶飯事、普通ノ政務デアリマシテ、之ヲ以テ現内閣ノ普通敎育ニ對スル一大施設ト認メルコトハ出來ヌコトハ分

リ切フ居ルノデアリマス(拍手)而シテ一方ニ於テハ高等教育機關ニハ是ダケノ金ヲ使ヒ、普通教育ニ對シテハ世間デ
驚々トシテヤカマシク言^シテ居ル所ノ、此所謂小學校教員俸給補助ト云フ問題ニ付テスラ、尙少何等ノ解決ヲシテ居ラヌト云フ狀況デアル、吾々ガ數年來此問題ニ付テ屢々議會ニモ聲ヲ嘎ラシテヤカマシク言ウテ居ルガ、政府及政府與黨ノ人ニハ殆ド風馬牛相關セズト云フヤウナ態度ヲ以テ之ニ臨ンデ居ルノデゴザイマス(拍手)昨年ノ議會デアラタト承知致シテ居リマスガ、確カ井上角五郎君ガ、市町村ニ於ケル所ノ教育費ハ餘程節約ノ餘地ガアル、尠クトモ三四割一後ニハ四割ト云フ事ハ御取消ニナリマシタケレドモ、尠クトモ三割位ノ剩餘節減ノ餘地ガアルト云フコトヲ言ハレテ天下ノ笑柄トナダコトハ諸君ノ記憶ニ新ナル所デアラウト思ヒマス(拍手)此辻接ヲ合スガ爲ニ、前首相が非常ニ御心配ニナシテ御承知ノ通り教育行政調査會ト云フモノノ設ケラレタガ、此教育行政調査會ト云フモノハ何ヲヤシテ居リマスカ、或ハ二部教授ヲ行ヒ、或ハ三學級ヲ二教員ニ於テヤラスト云フコトヲスル、隨分無理ナ話デアリマス、私共モ豫テ地方ニ居シタ經驗ガアリマシテ、一部教授ト云フモノハ日本ノ教育界ニ於テ不適當ナモノト云フコトハ、天下ノ定論ニナシテ居ル、又三學級ヲ教育上ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フコトハ、疾^クノ昔承認シテ居リマスガ、マダ内閣ノ諸公ニハ此事ガ分ラスト見エル、最早一部教授ト云フモノハ日本ノ教育界ニ於テ不適當ナモノト云フコトハ、天下ノ定論ニナシテ居ル、又三學級ヲ二教員ニ依^テ之ヲ養フ、是ハ出來ヌコトハゴザイマセヌ、無理ニヤラウト思ヘバ出來ルケレドモ、少クトモ教育上ニ於テハ非常ナ不利益ヲ忍バナクテハ出來ナイト云フコトモ、是モ分リ切タ事デアル、斯ノ如ク無理ナ事ヲシテ、千万圓、千五百萬圓ノ金ヲ絞出シテ、サウシテ國庫カラ必シモ教育費ニ對シテハ補助ヲシナクテモ宜イト云フ口實ヲ設ケヤウト云フ御考ノ如キハ、實ニ普通教育ニ對シテハ吾々甚ダ不深切ナル態度ト思フノデアリマス(拍手)斯ウ云フヤリ方ヲシテ來テ居ル、而シテ此頃ニナタラ軍縮ノ結果ニ依^テ金が出來ル其折ニナタラ初テ小學校ニ對シテ相當ノ補助ノ途行ハウト云フヤウナ事ヲ言ハレテ居リマスケレドモ、是モ捕ラヌ猩ノ皮算用、果シテ之ガ小學校教員ノ費用ノ爲ニドレダケ向^クラレルカト云フコトハ、何等明言ヲシテ居リマセス吾々ハ行政上ノ大整理ヲ行ヒ、行政ニ對シテ一大斧鉗ヲ加ヘルト云フ確信ガアル(「何ガアルカ」ト呼^フ者アリ)明ニ確信ガアル、此確信ヲ實行スル場合ニ於キマシテハ、尠クトモ現在ニ於ケル所ノ小學校ノ教員ノ俸給ノ約半額ニ近イモノハヤルコトガ出來ルト云フコトヲ確信ヲシテ居ル譯デアル(拍手)然ルニ行政財政ニ關スル整理ト云フヤウナ事ハ全然之ヲ雲煙過眼視シテ、唯軍縮ニ依ル所ノ結果ヨリ得ル所ノ

金ニ依^テ、初テ市町村ニ補助ヲシヤウト云フヤウナ事ヲ約東アシテ居リマスケレドモ、寔ニ當ニナラヌ所ノ口約アアルト私ハ信ジテ居リマス(拍手)隨テ少シデモ——三百万圓デモ、五百万圓デモ、金ニ餘リガ出来ルモノアルナラバ、先以テ之ヲ普通教育ニ向ケ、而シテ猶ホ餘力アル場合ニ於テ、高等教育機關ノ改善擴張ニ使フト云フナラバ、私共ハ敢テ異論ヲ言フ譯デナイ、既ニ第一期擴張計畫ニ於テ、約四五千万圓ニ近イ所ノ全ラウトテ、而シテ此上尚ホ此方ニカラ入ル、ト云フ考ガアルナラバ、ソレヨリハ尙ホ急務中ノ急務ト云フベキ小學校教員ノ俸給補助ノ增加ト云フ方ニカラレテ、サウシテ猶ホ餘力ガアルベ、第二次次アラウガ、第三次所謂事ノ緩急輕重ヲ得タル所ノモノニアラウト吾々ハ信ジテ居ルノアリマス(拍手)然ルニ今申シマシタ通り、當ニナラス所ノ物ヲ當ニシテ、小學校ノ方ノ補助ヲ是テ増スト云フコトヲヤラズシテ、而シテ餘リニ急ヲ要シナイト見テ、所ノ第二擴張計畫ニ手ヲ著ケルト云フコトハ、全ク順序ヲ誤テ居ルモノト言ハナケレバナラヌ事デゴザイマスガ、前刻委員長ノ報告ニ申サレタ通リニ是ハ公債財源ダ、公債財源ト云はトハ違フノアルカラ、公債財源ノ方ハ幾ラ擴張計畫ニ使^テモ、市町村ノ補助ト云フモノハ又別ノモノダト云フヤウナ事ヲ以テ辨解^テ、ニシテ居リマスガ、公債財源ニアラウガ、何ノ財源ニアラウガ、サウニ云フコトハ頓著ハナイ、政府ノ施設トシテ孰レガ重キカ孰レガ輕キカト云フコトヲ見テ、而シテ徐々ニ經費ノ支出スベキ途ヲ講ズルト云フコトガ、即チ財政上ノ按排上適當ナル事ト言ハナクテ、ナラヌモノト私共ハ信ジテ居リマス、此見地カラシテ、普通教育ヲ因却シテ高等教育ニ偏重シタル現在ノヤリ方ニ付テハ、吾々絶對ニ反對ヲセザルヲ得ザル所ノモノト御承知ヲ願ヒタノアリマス(拍手)然ラバ第二ノ點、即チ此擴張計畫ト云フモノ、撰疎漏デアル、到底此儘ニ置イテハ吾々ハ之ヲ承認スルコトガ出來ナイモノアル、元來が必要ニ迫ラレテヤルト云フヤリ方ナシ、一種ノ情實眞縁ニ囚ハレテ計畫ヲ樹テタモノアリマスカラ、初カラ無理ガアル(ノウー「ヒヤー」)ト呼フ者アリ)此無理ハ何處^テア行^テモ無理デアリマス、大正九年度ニ於テ、初テ計畫セラレタトキニハ、實ハ五校ト云フノハ違^テ居ル、東京ノ藏前ノ高等工業ト、大阪ノ高等工業學校ハ這入ル、又神戸ノ高等商業學校モ這入^テ居リマシタガ、高等師範學校ハ東京ノモ、廣島ノモ、其計畫ノ中ニハ這入^テ居ラナカタ、別ニ秋田ノ鑛山專門學校ト云フモノガ這入^テ居タ所謂四校ノ昇格案ニアタノアリマス、ソレヲ何時ノ間ニカ變更シテ、今日ノ五校昇格ト云フモノ

ガ出来タノデアルカラ、此一事ダケヨ見テモ、眞ニ當局者於テ一定ノ計畫、自信ノアル所ノ案ヲ持テ居ラナカタニフコトヲ證明スルコトガ出来ル譯デアル（拍手）加之是ダケ五校ヲ昇格シタナラバ、將來ハドウ云フ風ニ行クか、尙ホニ第一「第三ノ昇格運動ガ起ル憂ガアリ、又政府ガソレニ模稟ヲ極メテ居ル、當分ノ間ハヤラヌカモ知レヌケレドモ」カサレルト云フ憂ガナカラウカト云ノ點ニ付テ、當局者ニイテ見マスルケレドモ、當局者ノ之ニ對スル返答ハ實ニ曖昧ナ、實ニ曖昧ナル答辯ヲシテ居ルノデゴザイマスヤウナ、

○下岡忠治君(續) 隨テ此點カラ考ヘテ見マシテモ、政府ハ昇格ノ事ニ付テハ殆ド一定ノ自信ト云フモノガ無イト云フコトヲ斷言シナケレバ、ナラヌ(「ヒヤー」「ノウー」下呼フ者アリ)先づ高等師範學校ニ付テハ之ヲ觀テ見ルニ、我國ノ高等師範學校ハ創立以來四十年以上ノ歴史ヲ持テ居ル、我ガ國民教育、普通教育ノ上カラ申セバ、實ニ過去ニ於テ多大ノ貢獻ヲ爲シテ居ル所ノ學校デアルト云フコトヲ信ジテ居リマス、隨テ斯ノ如キ沿革ヲ持チ、又由緒ノアル所ノ學校ハ何處マデモ其特色ヲ發揮セシメ、勿論時勢ニ順應シテ、場合ニ依レバ其資格ヲ昇スト云フ事ニ付テハ、決シテ異存ヲ持テ居ラヌ者デアル、然ルニ此度ノ案ハ、名ハ昇格案デアリマスケレドモ、實際ハ昇格案ハナイ、別ノ大學ヲ新ニ造ルト云フニ過ギナイノデアリマス、即チ文理科ヲ内容トスル所ノ大學ヲ造リ、此大學ニ附屬シテ、只今ノ高等師範學校ヲ引付ケテ置カウト云フモノニアル、主タルモノガ文理科大學ト云フニ付コトアレバ、之ニ附屬スル所ノ高等師範學校ト云フモノハ、自然其附屬ニ属スルモノニアリマスカラ、大學ト云フモノ、性質ニ順應スルモノニナルト云フコトハ、是ハ當然ノ事デアリマス、然ルニ此文理科大學ト云フモノ、内容ヲ見テ見レバ、殆ド東京帝國大學、若クハ京都帝國大學ニ於ケル文科ナリ、理科ト少シモ違ハヌ、僅ニ教育科ト云フヤウナモノニ付テ、學科ノ配置ヲ區別スルコトガ出來ルカハ知ラヌガ、タツ三年間ノ間に於ケル所ノ學科課程ノ配置ニ於テ、東京或ハ京都ノ文理科大學ト性質ノ異タルモノニシヤウト思ウテモ、出來ルベキ筈モノデハゴザイマセヌ、隨テ此文理科大學ト云フモノハ、東京ノ帝大ナリ、或ハ京都ノ大学ト、殆ト其性質ヲ異ニスルコトハナイモノト謂ハナクテハナラヌ、所ガ本郷ノ大學ニ於キマシテハ、文科ニシテモ、理科ニシテモ。現在ノ學生ノ數ト云フモノハ、百人以下アリマス、併シ收容シヤウト思ヘバ、二百人モ三百人モ、幾ラデモ收容ガ出來ル、京都ノ文理科大學ハ恐ラクハ三十人カ

五十人ヲ上シテ居ラヌノアリマス、又是等ノ學校ニ於テモ、若シ文理科ノ學生ヲ收容シヤウト思ヘバ、將來百名ニアラウガ、二百名ニアラウガ、十分ニ入レルコトガ出來ルノアリマス、又東北ノ大學ニ於テモ、近キ將來ニ於テ文理科ノ大學ヲ造ルト云フコトニナシテ居ル、隨テ此方面ニ於テモ、文理科ノ志願生ヲ入レルト云フ上ニ於テハ、綽々トシテ餘裕アリト云フコトハ、言得ル譯デアリマス、何ヲ苦シニスカ(ヒヤー)此一點カラ考ヘテ見マシテモ、如何ニモ此案ガ姑息不徹底ノモノデアルト云フ事ヲ證明シテ居ルト謂ハネバナラヌ(拍手)又當リ前カラ考ヘテ見マシテモ、高等學校ヲ卒業シタ者カ、文理科ノ教育ヲ受ケヤウト思ウテ此學校ハ這入ルト云フコトノ想像ガ付カヌ、別ニ立派ナ學校ハ本鄉ニモアリ、或ハ京都ニモアルカラ、新ニ出來ル所ノ此文理科大學ニ、高等學校卒業者ガドンヽ這入^シテ來ルト云フコトニ自然ナルデゴザイマセウ、所ガ御承知ノ通り、高等師範學校ヲ卒業シタ者ガ十一年間掛ケ、高等師範學校ヲ卒業シタ者カ、尙ホ三年間此澤山望マヌカ知ラヌケレドモ、要求ハサウ云フコトニ自然ナルデゴザイマセウ、所ガ御承知ノ通り、高等師範學校ヲ云フモノハ、義務教育ヲ終了シタ者ガ十一年間掛ケ、高等師範學校ヲ卒業スルト云フコトニナルノゴザイマス、場合ニ依レバ九年間デ卒業スル者ガアルガ、普通ノ場合ニ於テハ十一年間修業ヲシテ、高等師範學校ヲ卒業スル、此十一年間修業シタ者、高等師範學校ヲ卒業シタ者カ、尙ホ三年間此文理科ヲ内容トスル大學ニ於テ教育ヲ受クルト云フコトニナリマスカラ、都合義務教育終了後ニ於テ十四年間修業ニ履シテ來タ者、即チ高等學校ヲ卒業シテ此文理科大學ニ這入ル者ヲ考ヘテ見ルト、是ハ中學校ノ四年間及高等學校ノ三年間、即テ義務教育終了後七年間ニシテ、而シテラスルト云フ結果ニナル譯デゴザイマス、然ルニ普通ノ徑路此文理科ノ大學ニ入ルト云フコトニナルノゴザイマス、七年間ニ尙ホ三年間、即チ十年掛クタナラバ、此大學ヲ卒業スルト云フコトニナル、一方デハ十四年掛カラナケレバ此大學ヲ卒業シナイ、而シテ他ノ一方ニ於テハ十年間デ此大學ヲルコトデアラウト思ヒマス(拍手)此一點タクヲ考ヘテ見マシテモ、如何ニモ此高等師範學校ノ所謂昇格トシテ文理科大學ヲ置クト云フコトハ、非常ナル無理ナモノデフルト云フベカラザルコトデアルト云フコトハ、常識ノ上カラ判断出来ルコトデアラウト思ヒマス(拍手)

卒業シタ者ガ、又體頭ガ白クナシカラ、ボツー、此大學ニ
這入ルト云フヤウナコトニナラヅル得ヌノデアルカラ、恐ク
ハ此大學ヲ捨ヘマシテモ、此處ニ這入ル所ノ者ハ實ニ寥々、
折角多大ノ金ヲ使シタ所ノ大學モ、全ク收容スル所ノ生徒
ハ非常ニ少イト云フ結果ヲ見ルコトハ分リ切シテ居ルト思フ
ノデアリマス、「ヒヤー」「ノウー」下呼フ者アリ、吾々ハ只今
申シタ通リニ、高等師範學校ノ昇格ト云フモノニハ反対ハ
シテ居ラヌノデアリマス、確ニ高等師範學校ト云フモノガ國
民教育ノ淵源トデモ申シマスカ、參謀本部トデモ申シマスカ、
確ニ將來ニ於テセ自由研究府タル所ノ大學以外ニ於テ、高
等師範學校ノ如キ設備ノ存在ヲ認メ、隨テ是等ガ其程度
ヲ高メテ、所謂昇格ヲスルト云フコトハ敢テ惡イト思ヒマセ
ス、思ヒマセヌガ、此立テ方ハ全ク別ノモノヲ捨ヘ、文理科ヲ
内容トスル別ノ大學ヲ造ルト云フ立テ方デハ宜クナインデ
アリマシテ、普通ノ中學校ヲ卒業スル者、或ハ師範學校カラ
來タ者ヲ一定ノ間、豫備教育ヲ施スト云フコトヲヤシテ、而
シテ尙ホ其上ニ教育的專門ノ學科ヲ與ヘテ、大學ト同一ノ
程度ニスルト云フコトデアルナラバ、是コソ所謂眞ニ師範大
學ト申シマスカ、教育大學ト申シマスカ、世間ノ期待、又學
校當局者ナリ、生徒ナリ總アノ者ノ希望スル所ト、丁度一
致スル所ノモノガ出來ル譯デアル（拍手）所ガドウ云フ加減
デアリマスルカ、或ハ曰ク、樞密院ニ故障ガアル、或ハ曰ク教
學ト申シマスカ、教育大學ト申シマスカ、世間ノ期待、又學
校當局者ナリ、生徒ナリ總アノ者ノ希望スル所ト、丁度一
致スル所ノモノガ出來ル譯デアル（拍手）所ガドウ云フ加減
デアリマスルカ、或ハ曰ク、樞密院ニ故障ガアル、或ハ曰ク教
育ノ者宿、元老ノ間ニ反對ガアル、左顧右盼シ、彼方ヲ見
此方ヲ見テ、遂ニ全ク本當ノ筋途ノ立ダナイ、殆ド教育ノ大
道ヲ全然荼ルヤウナ、斯ノ如キ提案ヲ見ルト云フニ至シタ
云フコトハ、如何ニモ殘念至極ト言ハナクテハナラヌト思フ
ノデアリマス（拍手）工業大學ニ付テモ亦然リ、藏前ノ高等
工業學校ト云ヒ、又大阪ノ高等工業學校ト云ヒ、中々設
備モ立派デモゴザイマス、教員モ立派ナ人ガ澤山出テ居リ、
多年工業界ニ貢獻シテ居ルコトノ多キコトハ、吾々之ヲ認
メテ居ルノデアリマス、若シ出來得ベクンバ之ヲ昇格シテ、眞
ニ昇格シテ、此學校ノ程度ヲ高メルト云フコトニ付テハ、敢テ
吾々異存ハナイノデアル、所ガ本案ハ如何デアリマスカ、昇
格デアリマセヌ、工業學校ハ廢メニスル、而シテ別ニ二大學
ヲ建テル、高等學校ヲ卒業シタ者ヲ收容シテ三年間ヤル所
ノ學校、丁度本鄉ノ工科大學ト少シモ違ハヌト云ウテ宜イ
テ、學科ヲ配置スル上カラ考ヘマシテ、僅カ三年間ニ於ケル
總テノ専門教育ニ付テ、本鄉ノ學校ト藏前ノ學校ト大ナル
徑庭、差別、即チ特色ヲ有スルモノ造ルト云フコトハ、是ハ
到底不可能ノ事デアル、委員會ニ於テ國民黨ノ大口君ガ

此點ニ付テ政府委員ニ段々色ニ尋ネラレマシテモ、此案、此計畫セラレテ
府委員ハ言葉窮シテ答フルコトガ出來ナイ「ノウー」下呼
フ者アリ吾々横カラ見テ居テ、實ニ情クナイト云フ感ジカ
致シマシタ（其ノ通り）下呼フ者アリ、拍手）斯ウ云フ所謂其
シテ居ラヌノデアリマス、確ニ高等師範學校ト云フモノガ國
民教育ノ淵源トデモ申シマスカ、參謀本部トデモ申シマスカ、
確ニ將來ニ於テセ自由研究府タル所ノ大學以外ニ於テ、高
等師範學校ノ如キ設備ノ存在ヲ認メ、隨テ是等ガ其程度
ヲ高メテ、所謂昇格ヲスルト云フコトハ敢テ惡イト思ヒマセ
ス、思ヒマセヌガ、此立テ方ハ全ク別ノモノヲ捨ヘ、文理科ヲ
内容トスル別ノ大學ヲ造ルト云フ立テ方デハ宜クナインデ
アリマシテ、普通ノ中學校ヲ卒業スル者、或ハ師範學校カラ
來タ者ヲ一定ノ間、豫備教育ヲ施スト云フコトヲヤシテ、而
シテ尙ホ其上ニ教育的專門ノ學科ヲ與ヘテ、大學ト同一ノ
程度ニスルト云フコトデアルナラバ、是コソ所謂眞ニ師範大
學ト申シマスカ、教育大學ト申シマスカ、世間ノ期待、又學
校當局者ナリ、生徒ナリ總アノ者ノ希望スル所ト、丁度一
致スル所ノモノガ出來ル譯デアル（拍手）所ガドウ云フ加減
デアリマスルカ、或ハ曰ク、樞密院ニ故障ガアル、或ハ曰ク教
育ノ者宿、元老ノ間ニ反對ガアル、左顧右盼シ、彼方ヲ見
此方ヲ見テ、遂ニ全ク本當ノ筋途ノ立ダナイ、殆ド教育ノ大
道ヲ全然荼ルヤウナ、斯ノ如キ提案ヲ見ルト云フニ至シタ
云フコトハ、如何ニモ殘念至極ト言ハナクテハナラヌト思フ
ノデアリマス（拍手）工業大學ニ付テモ亦然リ、藏前ノ高等

此點ニ付テ政府委員ニ段々色ニ尋ネラレマシテモ、此案、此計畫セラレテ
府委員ハ言葉窮シテ答フルコトガ出來ナイ「ノウー」下呼
フ者アリ吾々横カラ見テ居テ、實ニ情クナイト云フ感ジカ
致シマシタ（其ノ通り）下呼フ者アリ、拍手）斯ウ云フ所謂其
シテ居ラヌノデアリマス、確ニ高等師範學校ト云フモノガ國
民教育ノ淵源トデモ申シマスカ、參謀本部トデモ申シマスカ、
確ニ將來ニ於テセ自由研究府タル所ノ大學以外ニ於テ、高
等師範學校ノ如キ設備ノ存在ヲ認メ、隨テ是等ガ其程度
ヲ高メテ、所謂昇格ヲスルト云フコトハ敢テ惡イト思ヒマセ
ス、思ヒマセヌガ、此立テ方ハ全ク別ノモノヲ捨ヘ、文理科ヲ
内容トスル別ノ大學ヲ造ルト云フ立テ方デハ宜クナインデ
アリマシテ、普通ノ中學校ヲ卒業スル者、或ハ師範學校カラ
來タ者ヲ一定ノ間、豫備教育ヲ施スト云フコトヲヤシテ、而
シテ尙ホ其上ニ教育的專門ノ學科ヲ與ヘテ、大學ト同一ノ
程度ニスルト云フコトデアルナラバ、是コソ所謂眞ニ師範大
學ト申シマスカ、教育大學ト申シマスカ、世間ノ期待、又學
校當局者ナリ、生徒ナリ總アノ者ノ希望スル所ト、丁度一
致スル所ノモノガ出來ル譯デアル（拍手）所ガドウ云フ加減
デアリマスルカ、或ハ曰ク、樞密院ニ故障ガアル、或ハ曰ク教
育ノ者宿、元老ノ間ニ反對ガアル、左顧右盼シ、彼方ヲ見
此方ヲ見テ、遂ニ全ク本當ノ筋途ノ立ダナイ、殆ド教育ノ大
道ヲ全然荼ルヤウナ、斯ノ如キ提案ヲ見ルト云フニ至シタ
云フコトハ、如何ニモ殘念至極ト言ハナクテハナラヌト思フ
ノデアリマス（拍手）工業大學ニ付テモ亦然リ、藏前ノ高等

論がヤカマシイ、現ニ我國ニハ齒醫者ガ非常ニ多イ——外國ニ比シア齒醫者ノ補充ヲスルコトヲ急務トハ認メテ居ラヌノデアルカラ、隨テ此意味カラ考ヘテ、齒科醫學專門學校ヲ設ニ造ラナケレバナラヌト云フ必要ヲ認メナイノデアル、要スルニ何レノ點カラ考ヘテ見テモ、本追加像算ニ對シテハ到底賛成スルベキ理由ヲ見出スコトカ出来ナイノデアルカラ、吾々ハ宜シク政府ヲシテ此案ヲ立直シテ、確カリ計畫ヲヤリ直サズベク再考セシムル爲ニ反對ヲ致ス譯デアリマス(拍手)尙ボ一步ヲ進メ申シテ見タイ思フノハ、本案ハ非常ト目ツ付ノ案デヨグイマニ、此案ニ付キマシテハ中橋文相ハ世ニ所謂食言問題ナル問題ヲ惹起シテ、天下ノ耳目ヲ聳動セシイタモノアリマス(拍手)去年ノ議會ニ於テ、私が此壇上デ申シク事ガアリマスダ、明ニ中橋文相ハ天下ニ公言シテ、大正十年度ニハ必ズ五校ノ昇格ヲスルト云フコトヲ申シタコトハ隠レナキ事實デアル、此問題ノ爲ニ貴族院ニ於キマシテハ、幾下五十日ノ長キニ至リ、或ハ風教ニ關スル建議案トナリ、或ハ文相ニ對スル彈劾的意味ノ決議案トナリ、餘程政府ヲ擁護スル所ノ研究會ヲ代表シテ居ル前田子爵スラ何ト言ウタ、洵ニ中橋文相ノ行動ハ大輕率、大失策デアル、九寸五分ハ必シモ文相ノ前ニ突出サヌケレドモ、一ツ御考ニナッテ然ルベキデアラウ、斯ウ云フ事マデ言ハレテ居ルノデアリマス之ヲドウ御解釋ニナルノデアリマス、私ハ此五校昇格問題ニ於テ、實ニ忌ムベキ、斯ノ如キヤウナル結果ヲ見ルニ至シタノヲ悲ム者デアルダ、然ルニ其後恬然其位ニ居リ、而シテ教育評議委員會ナルモノヲ設ケテ、而シテ愈、五校昇格案トナツテ、此議場ニ出サレルヤウナコトニナリマシタク、縱シ五校昇格案ヲ爰ニ御出シニナツテ見タ所デ、之ニ頗リト祕密々々ト言シテ、祕密會デアタト言ハレマスケレド依テ文相ノ食言問題ト云フモノハ、決シテ帳消ニハラヌノデアリマス(拍手)加之、文相ノミナラヌ、高橋總理大臣ハ去ル二日ノ貴族院ノ豫算總會ニ於テ何ト言ウタ、首相ハ頗リト祕密々々ト言シテ、祕密會デアタト言ハレマスケレドモ、是ハ公然ノ祕密デアル、天下周知ノ事實デアリマス、其時ノ首相ノ言ニ依レバ、問題ハ左程内閣ノ運命ニ關スル程ノ重大ナル問題トハ思ハヌカラ、此問題ニ關シテ吾々ニマデ責任ヲ持タスト云フコトデアレバ考物デアルガ、文相一個ノ考デヤルト云フコトデアレバ、オヤリニナッテモ宜カラウト云フコトヲ、内閣組織ノ當時ニ話シタト云フコトヲ、祕密會ニ於テ御話ニナツタノデアリマス、何タル脱線デアラウ、内閣組織ノ際ニ於ケル所ノ文部大臣ト總理大臣トノ話ヲ、赤裸々ト申シマセウカ、之ヲ貴族院ニ於テ御公言ニナツタ譯デアル、文相タルモノ此侮辱ニ對シテ決シテ晏如タルコトガ出来ナリハ當然デアルカ、御承知ノ通り大磯ニ往ダノハドウ云フ

譯デアル、是ニハ種々ノ議論ガアリ「何ヲ言フ、脱線スルナ」ト呼フ者アリ)又ヤカマシイ問題ガ起リマシテ、四日ニナシテ「脱線」豫算ニ何ノ關係ガアル(ト呼フ者アリ)二日ニ於アサウ云フ事ヲ貴族院ノ豫算總會ニ於テ申シテ置キナガラ、四日ノ日——僅ニ三日ヲ隔テ、首相ハ全ク其當時言ウタ事ヲ知ラザルモノ、如ク、全ク連帶責任デアル、其當時ハ内閣組織當時ニ關スル事ニ付テ話ヲシタノデアリ、現實ノ問題トハ一向關係ガ無イ、現實ノ問題トシテハ之ヲ閣議ニ懸ケテ、而シテ提案スル以上ハ、連帶ノ責任ハ持ツノデアルト、斯ウ云フ事ヲ言ハレマシタ、確ニ食言デアル——確ニ食言デアル、苟モ一國ノ總理大臣タル者ガ、二日前ニ言ウタ事ヲ、恰モ掌ヲ反スガ如ク之ヲ誠スト云フコトハ、洵ニ風教ノ上カラ考ヘ、政治道德ノ上カラ言ウテ、決シテ之ハ寃屈スペカラザル罪惡ト思ヒマス(拍手)併ナカラ首相ノ後ニ隸シテ言ハレタ事が正當デアルカ、前ノ夕間達テ居ルカ、吾々モ昇格問題ナルモノハ非常ニ重要ナル問題ト思ウテ居リマス、五ツノ学校ヲ昇格シャウ、五ツノ大學ヲ設ケヤウト云フ問題ハ、決シテ是ハ輕イ問題デハナイ、重大ナル問題デアル、加之此問題ニ付キマシテハ、種々ナル沿革ヲ有シ、昨年來政治上非常ニ厄介ナルモノ、重要ナル問題トシテ一般カラ認メラレテ居ルノデアリマシテ、當時ニ於ア大藏大臣タリシ高橋首相ハ、ソレヲ知ラヌ苦ハナイ、又之ニ對シテ當然共ニ俱ニ責任ヲ負フベキ苦ノモノニアツテ、隨テ内閣組織ノ當時ニ於テ、此點ハ共同ノ責任アルコトハ分り切テ居ル、今日ニ於テ閣議ニ懸ケヤウガ懸ケマイガ、連帶ノ責任——一蓮托生ノ運命ヲ持タナケレバナラヌト云フコトハ、當然ノ事ト思フノデアリマス(拍手)諸君、本案ノ運命モ既ニ略、分ツテ居ルヤウデアリマス、恐ラク貴族院ニ於テ握済シノ運命ニナルト云フコトハ間違ナイコトデゴザイマセウ(拍手)本案ノ運命ガ既ニ決マスレバ、此重大ナル案ニ對シテ、中橋文相ハ勿論、又之ヲ主宰スル共同ノ責任デアルト云フコトヲ唱ヘテ居ル總理大臣ニ於テモ、當然ニ對シテ重大ナル責ヲ持ツト云フコトハ分リ切テ居ル、願クハ足元ノ明ルイ中ニ宣シク此文相ト云ヒ首相ト云ヒ、二人ノ人々が食言ヲシタ、此食言ニ對シテ懺悔ヲスル積リニ於テ、此案ヲ御撤回ニナルノガ然ルベキ事ト信ズルノデアリマス(拍手)私ハ此意味ニ於テ、本案ニ對シテ反對スル者デアリマス(拍手)

○議長奥繁三郎君 小田切磐太郎君

(小田切磐太郎君登壇)

忠治君カラ反対ノ御議論ガノツナデアリマス、本員ハ茲昇格案ノ成立及經過ニ付テハ、何等言フ必要ヲ認メナイノデアリマスカラ、直ニ本案ニ這入リマシテ贊成ヲ述ベ、併セテ下岡君ノ反対議論ニ反対ヲ表スルノデアリマス、諸君、御承知ノ通り曩ニ政府ハ六年計畫ヲ以テ、高等教育機關ノ大擴張ヲ計畫シタノデアリマス、爾來世ノ中ノ進運ト云フモノハ非常ニ著シイモノデアリマシテ、華府ニ於ケル平和會議が終了シ、是ヨリ後我が日本帝國トシテ文化事業及經濟事業ノ發展ヲ圖シテ、日本帝國ノ富強ヲ國ラントスル此際此時ニ於テ、高等教育機關ノ整備擴張ハ最毛時代ノ要求ニ應ズル所ノモノト本員ハ信ズルノデアリマス（拍手）此追加案ノ内容ハ、只今委員長ヨリモ御報告ニナリマシタガ、多種多様アルノデアリマスカラ、尙ホ簡単ニ申上ダマス、第一ニハ御承知ノ通りニ、東京高等工業學校、大阪高等工業學校、神戸高等商業學校ノ組織ヲ變更シテ、東京工業大學、大阪工業大學及神戸商業大學ト爲サントスルノデアリマスル、第二ニハ今日ノ東京高等師範學校及廣島高等師範學校ノ專攻科ノ組織ヲ變更シテ、東京文理科大學、廣島文理科大學トセントスルノデアリマスル、第三ニハ實業専門學校ニ專攻科ヲ設置シヤウトスルノデアリマスル、第四ニハ東京外國語學校ノ年限ヲ一箇年延長セントスルノデアリマスルシ、第五ニハ齒科醫學專門學校ヲ新ニ創設シヤウト云フコト、第六ニハ之ニ伴フ教員ノ養成ト云フコトニ相成テ居ルノデアリマスル、爲ニ各項目ニ付キマシテ、極テ簡単ニ本員ハ賛成ノ理由ヲ申述ベルノデアリマス（「謹聽」ト呼フ者アリ）

學ヲ擴張スル方法ヲ採ラズシテ、只今申上ダタ應用ニ重ヤ
ヲ置ク、特色アル所ノ單科大學ヲ設置スルコトニ相成ツノ
デアリマスレ、今ヤ世ノ中ハ日ニ益々進ニテ、殊ニ此學生ガ何レ
ノ方面ノ學問ノ最モ修メル志望者ガ多イカト申シマスト、工
業及商業、經濟ノ方面ニ多々走ルノアリマスル、高等學
校完成ノ曉ニ於キマシテハ、其方面ノ志望者ヲ十分收容ス
キヲ置ク大學ヲ造ルト云フモレハ、今日ノ大學ニ於テハ無イノデ
アリマスル、故ニ今日ノ大學トハ組織及研究ノ方法ヲ異ニ
致シマスルケレドモ、時代ノ要求ニ最モ應ズル所ノ應用ニ重
キヲ置ク大學ヲ造ルト云フコトハ、ニハ希望者ノ志望ヲ完
ウセシムルト同時ニ、我ガ日本帝國ノ國運ニ應ズル最モ善
良ナル策ト本員ハ信ズルノアリマスル（拍手）次ニハ所謂
文理科大學ノ設備ト云フコトニナルノアリマスル、御承知
ノ通リ今日中等學校ノ教員ヲ供給シマスル所ノ機關ハ、男
女ノ高等師範學校ヲ中心致シテ居リマシテ、其他帝國
大學ノ文學部及理學部ノ卒業及檢定試驗ニ合格シタル
者ガ、中等敎員ニ相成ツテ居ルト云フヤウナ狀況ニナシテ居
リマスル是モ時代ノ要求ニ應ジマシテ、一層人格ノ優レタ
ル而モ學識ノ一層深ク深刻ナル所ノ敎員ヲ要スルト云フ
コトハ、是亦我ガ日本帝國ノ今日ノ狀況ニ於テ、最モ必要
ナ事ニ相成ルノアリマスル、此必要ニ應ジマスルガ爲ニ、今
日ニ在リマスル所ノ高等師範學校ノ專攻科ノ組織ヲ變更
シテ、文理科大學ヲ設置スルト云フヤウナコトデアリマスル、
之ニ依テ我ガ日本帝國ハ、今日以後ニ於テ、今日ヨリモ一
層善良ナル、而モ優秀ナル所ノ良教員ヲ多々得ルコトガ出
來ルノアリマスルカラ、我ガ帝國ノ爲ニ沟ニ幸福ト言ハナ
ケレバナラヌノアリマス、第三ニハ實業專門學校ニ專攻科
ヲ置クト云フコトデアリマスル、今日ハ卒業生ハ其專門學
校ヲ卒業致シマシテモ、其學校ニ於テ尙ホ特殊ノ研究ヲ續
ケルト云フ利便ハ爲イノアリマス、而シテ學校ヲ卒業シテ
モ、尙ホ特殊ノ科目ニ付テ研究シヤウト云フ風潮ト云フモ
ノハ、段々多クナルノアリマスル、此急ニ應ズルガ爲ニ、實
業專門學校ニ專攻科ヲ置イテ、此志望者ノ希望ヲ充タス
ト云フコトハ、是非我ガ日本帝國ノ文運ノ進化ノ上ニ最モ
必要デアリ、且ツ有益ナ事業デアルト信ズルノアリマス、其
次ハ、其次ハ外國語學校ノ修業年限ノ一箇年延長ト云フ
事デアリマスル、外國語學校ハ御承知ノ通リ、外國語ノミノ
専修デアリマシタク、併ナガラ今日ノ時勢ニ於テハ、單ニ外
國語ノミガ出來ルト云フ事ダケデハ、決シテ十分ナリト云フ
コトハ出來ナイノアリマスル、其故ニ政府ハ曩ニ外國語學
校ニ、移民及貿易ノ學科ヲ插入スル事ニ相成ツクノアリマ
ス、之ガ爲ニ一方ニ於テハ外國語修養ノ時間ヲ割カシケレ
バナラヌト云フ事ニ相成ルノアリマスカラ、一箇年ノ延長
ト云フ事ハ是亦最モ適切ナル處置ト言ハナケレハナラスト
信ズルノアリマスル、次ニ齒科醫學專門學校設置ノ事デ

アリマスル、今日齒科專門醫學校ニ付テハ、官立ノモノハ我
ガ日本帝國ニ於テモ無イノアリマスル、今日マデドウ云
フ事ヲ以テ是等ノ醫師ヲ供給シテ居タカト云フト、御承知
ノ通リ東京齒科醫學專門學校、或ハ日本齒科醫學專門學
校、其他大阪齒科醫學專門學校卒業生、其他檢定試驗
ノ合格者ヲ以テ充タシテ居ラズアリマスケレドモ、併ナガラ
是等ノ人ノミヲ以テシテハ十分ナル事ハ出來ナイノアリ
スル、其故ニ政府ハ官立アリテ齒科醫學專門學校ヲ設置シ
テ、世ノ中ノ需要ニ應ズルト云フコトハ、是亦今日ノ時勢ニ
於テ最モ適當ナル事ト本員ハ信ズルノアリマス、斯ノ如キ
理由ニ依テ、本員ハ政府提出原案ヲ贊成スル者アリマ
スル、只今憲政會下岡君ハ、縷々反對ノ御意見ヲ御述ニ
ナタノアリマスルガ、其中ニ如何ナルコトヲ言ハレタカト
云フト、今日ノ教育上、我ガ日本帝國ニ於テ最モ缺陷アルモ
ノハ普通教育デアル（其通りト呼フ者アリ）此普通教育ノ
完備ヲ先ニ圖ラズシテ、高等教育機關ノ擴張ヲ圖ルモノハ、
本末ヲ誤レルモノアリト言ハレタノアリマスケレドモ、
本員ハ爾ク認メナインアリマスル、今日諸君御承知ノ通
リ、義務教育ハ假令政府直接ノ事業トシテデハナイデアリ
マスケレドモ、山村水郭、到ル處普通教育ト云フモノハ相
當ニ發達シ來ラシテ居ルノアリマス、之ニ反シテ高等教育機
關ノ設備ト云フモノハ如何アリマセウカ、中學ヲ卒業シテ
學バント欲シテモ學校不足ノ爲ニ入ルコトガ出來ナイ、ソレ
ガ爲ニ絶多ノ青年子弟ト云フ者ガ煩悶シ苦シ居る狀況
ト云フモノハ、實ニ慘澹タルモノト言ハナケレバナリマセヌ、拍
手由來普通教育ガ重イカ、高等教育ケ重イカト云フコト
ハ、無論抽象的ニ之ヲ論ズルコトハ出來ナイノアリマス、其
時ノ帝國ノ國情ニ依テ、時ニ或ハ高等機關ノ擴張ヲ先ニ
ヤランケレバナラヌ事モアリマス、時ニ或ハ普通教育ニ金ヲ
投ゼンケレバナラヌコトセアリマセシカ、私ハ只今申シマシタ
通り、今日ニ於テハ政府直接ノ事業トシテデハナイデアリ
マスケレドモ、我ガ日本帝國ノ普通教育首程開ゲテ居ルモ
ハ他ニ多クノ類例ヲ見ナイト信ズルノアリマス（拍手）ノ
ウレ「下呼フ者アリ」併ナカラ之ヲ以テ満足スルコトハ出來
テ、其感想アリマスルカ、政府トシテハ、此點ニ付テ今後ニ於
テモ亦多大ノ努力ヲ期シテヤルト云フ約束ヲ結バレタノ
デアリマス、大正九年ニ文部大臣ハ、或ハ藏前ノ高等工業
部分ガアリマシテ、而モ此問題ハ大正九年以來、此政治界ニ
横ハテ居ル一ツノ宿題アリマシテ、隨テ此問題が本件ノ豫
含マシテ居リマスルガ、本件ノ此豫算案ハ單純ナル昇格案
デハナインアリマス、唯此中ニ單科大學ヲ設ケルト云フ一
〇砂田重政君（砂田重政） 砂田重政君

○砂田重政君 本員ハ只今議題ニ供サレマシタル豫算案
ニ對シテ、政府ニ之ヲ返付シテ編成替フ要求スルト云フ意味
ニ於テ反對ヲ致シタクト思フノアリマス（譯聽下呼フ者
アリ）吾々ハ此案ヲ單ニ一括シテ昇格案ト云フ言葉ニ中ニ
含マシテ居リマスルガ、本件ノ此豫算案ハ單純ナル昇格案
デハナインアリマス、唯此中ニ單科大學ヲ設ケルト云フ一
部部分ガアリマシテ、而モ此問題ハ大正九年以來、此政治界ニ
横ハテ居ル一ツノ宿題アリマシテ、隨テ此問題が本件ノ豫
算ヲ通シテ、昇格案ト云フ言葉ニ葬ラレテ居ルモノト思フノ
デアリマス、大正九年ニ文部大臣ハ、或ハ藏前ノ高等工業
ニ於テ、或ハ大阪ノ高等工業ニ於テ、神戸ノ高等商業ニ於
テ、其感想アリマスルカ、而ハ言明デアリマスルカ分リマセ
ヌガ、是等ノ學校ヲ昇格ヲシテヤルト云フ約束ヲ結バレタノ
デアリマス、甚シキニ至リテハ（約束ナシ）下呼フ者アリ
黙ブテ御聽キナサイ、文部大臣ハ此演壇ニ於テ湯浅君ノ演
說ニ對シテ、實ニ時代ヲ諒解セザルモノヲ頼ムノアリト
テ居ル場所ガアルノアリマス、斯様ナ事實ガアリ、此昨年
ノ議會ニ於テ、當議場ニ於テ此問題ノ爲ニ、或ハ文部大臣
ニ對シテ一枚舌ト云フヤウナ言葉が流行スルニ至リ、延テハ
貴族院ニ於テ、土地ノ買入ヲ爲シ、建物ノ建築等マデモ爲シ
テ、反省ヲ促ス意味ノ建議案マデモ提出スルニ至リノアリ
マス、而シ尙ホ本年ノ議會ニ於テ、之ガ爲ニ總理大臣及
文部大臣ノ間ニ、殊ニ貴族院ニ於テハ、一蓮托生ト云フ問

工業ヲ大學ニ直ス以上ハ、全ク用ニ立タヌモノニナシテ、他ノ學校ニ移送シナケレバナラヌ狀態ニナシテ居ル、斯様ニシテ東京ノ帝國大學ト何等差異ノ無イ教育ノ仕方ヲスルナラバ、何ヲ苦ンデ一市町村内ノ中ノ一ノ市ノ中ニツノ大學ヲ別々ニ造ルト云フ必要ハ全然認メラレナインデアリマス、大阪ニ於テモ同様デアリマス、殊ニ此高等師範學校ニ至フテハ高等師範學校ノ專攻科ヲ引直シテ大學ニスルト云フコトヲ言ハレテ居リマスガ、此點ニ付テハ實ニ甚シキ點ガアル、先程下岡君ノ演説中ニアリマシタガ、現在ノ教育制度ニ依レバ、高等師範學校ヲ卒業スルマダニハ、尋常小學校ヲ卒業シタル者ヲ、更ニ二年間高等小學校ニ入レ、普通ノ師範學校ニ入レ、然後ニ高等師範ニ行クノデアルカラ、是ハ一年間經ル、又中學卒業シテ高等師範ニ入タ者ハ、九年間デ此高等師範ヲ卒業スルコトニナルノデアリマス、一面ニ中學校ヲ卒業シテ高等學校ニ這入シテ、此高等學校ヲ出テ然ル後ニ此高等師範ノ文理科大學ニ入ル者ハ、丁度六年間デ這入レルコトニナル、六年若クハ七年デ這入ルコトニナル、斯様ニシテ而モ高等師範學校ニ於テ教育致シマスル科目ハ、特別ノ技術、技術、即チ教育ニ關スル總テノ一應ノ教育ハ終ツテ居ル人デアル、普通高等学校卒業スル人ニハ未だ教育ニ關スル全ク何等ノ教育モ施サレテ居ラス、此人ニヨリ對等ノ地位ニ置イテ之ニ教育ヲ致シマスル以上ハ、教育ノ程度ガ高等師範ニ於テ一度學ヒ得タル者ヲ再ビ教ヘルニ非ザレバ、高等學校ヨリ入學シタ人ニ對シテハ、程度ガ高過ギルモノニナルノデアリマス、斯様ニ教育ノ程度ノ異ナリ、殊ニ多數ノ年限ヲ經タル者ト、短年限ヲ經タル者トワーツノ中ニ入レ教育ヲシテ、是デ果シテ今日以上最モ優良ナル教員ヲ得ルト云フコトハ、吾々ハ如何ニシテモ考ヘルコトガ出來ナイノデアリマス、殊ニ一面カラ此點ヲ考ヘマスルト、高等師範學校ニ入ル人ニハ、多クハ普通師範學校ヲ出ル人ニアリマス、普通師範學校ヲ出ル人ハ、地方ニ於テハ餘り富裕ナル財產ヲ持シテ居ル人デハナイ、成ベク僅カ子金ニ依シテ教育ヲ受ケルト云フ方針ア進シテ居ル者ト、十分ノ財產ヲ持チ、十分ノ教育資金ヲ得テ高等学校マダ經タル者ト、一方ハ貧者ニ對スル教育組織デアッテ、而モ是ハ十一年ノ年限ヲ要シ、富者ニ對シテハ六年ノ年限ヲ經タル者ト、對等ノ地位ニ置イテ、ソレカラ大學ノ教育ヲスルト云フ如キハ、洵ニ根本ニ於テ富者ニ厚クシテ、貧者ニ薄キヤリ方デアルト謂ハナクレバナラヌノデアリマス（拍手）斯様ニ教育ノ根本ニ於テ政府ノ主張シタル特色ヲ有シ、特ニ此應用ニ適スベキ人ヲ造リ上ダル場所デアルト言ヒナガラ、一モ其點ニ對スル特色ト認ムベキ點ガナイミナラズ、一面ニ於テ此高等工業學校、高等商業學校ノ如キニ對シテハ、非常ナル不利便ヲ與ヘルノデアリマス、先程小田切君ハ此高等學校ヲ卒業シタル人ノガ這入ル場所ガナイト云フコトヲ救フ爲ニハ、多數ノ大學

ヲ造ル必要ガアルト云フコトヲ沿々述ベラレマシタ、吾々モ此點ニ於テハ、決シテ小田切君ノ人後ニ落ル者アリマセヌ、併ナガラ此六年計畫ヲ以テ高等教育機關ヲ造ルコトヲ計画サレタル大正八年ノ當時ニ於テハ、一面ニ高等学校ヲ殖シ、大學ヲ殖ス必要ガアルト同時ニ實業専門學校ニ對スル希望者ガ非常ニ多數ノ數ニ上シテ、之ヲ收容スベキ場所ガナイト云フノア、一般ノ高等實業學校ヲ澤山ニ創立サレル計畫ニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ今日ニ至テ此高等實業専門學校ノ中ニ於テ、帝國ノ中最モ大キナ學校デ、多數ノ生徒ヲ收容シ、且ツ多數ノ人ニ對シテ最モ權威アル教育ヲ致シテ居リマス、東京高等工業學校ヲ大學ニ引直シテシマフ、大阪ノ高等工業ヲ大學ニ引直シ、神戸ノ高等商業ノ組織ヲ變更シテシマッテ、而シテ之ニ收容スペキ人間ハ、高等學校若クハ實業専門學校ヲ卒業シタル者ハ、僅ニ神戸ノ高等商業ニ於テ六百人、其他ハ僅ニ四百人ニ至ラナイ人數ヲ收容シヤウト云フノデアリマス、果シテ然ラバ此六年計畫ニ依テ、實業專門學校ニ入學志望スル者が多數ニアリ、之ヲ收容スル途が無イト云ウテ、一面ニ殖シテ置キナガラ、此大キナ三ツノ學校ヲ廢シテシマフ以上ハ、茲ニ一大缺陷ヲ生ジテ、實業專門學校ノ大不足ヲ生ズルト云フコトハ免ルコトノ出來ナ事實デアリマス(拍手)此點ニ對シテ何等ノ考慮ヲ拂ハレナカダト云フコトハ、私ハ小田切君ニ對シテ洵ニ遺憾ニ存ズルノデアリマス、神戸ノ高等商業學校ハ、今日マテ一千二百人ノ生徒ヲ收容シテ居ルノデアリマス、而モ此千二百人ノ生徒ノ大多數、其四分ノ三ハ阪神ニ住居スル多數ノ商人ノ子弟ガ之ニ入學ヲ致シテ居ルノデアリマス、然ルニ今回之ヲ大學ノ組織ニ直シテ、僅ニ其半數アル六百人ヲ收容スルコト、爲シ、而モ是ハ各地ノ高等學校、若クハ各專門學校ヲ卒業シタル者ヲ入學セシメル、而シテ此入ルコトノ出來ナイ神戸及兵庫縣若クハ大阪府ニ於ケル此專門學校ニ志望スル人ニハ、何處へ之ヲ收メルノカト云フ質問ヲ致シマスルト文部省當局ハ、是ハ文部大臣ノ説明ニ依ルト、和歌山ノ高等商業ニ入レル、彦根ノ高等商業ニ入レル計畫アルト言ハレタ、是等ノ學校ハ此神戸ノ高等商業學校ノ存在ヲ前提トシテ、尙ホ志望者ニ堪ヘ切レナイト云フノデ置カレ道ノ小樽、名古屋、山口、長崎ニヤル積リデアルト云フ説明ヲサレタ、神戸大阪ニ四分ノ三ヲ占メ、大多數ヲ占メテ居ル此大阪神戸ノ中間ニ在リマス、神戸高等商業學校ヲ志望シテ者ハ、自分ノ子弟ヲ自分ノ脚下ニ於テ教育ヲシタイ

ト云フ爲ニ、斯様ニ多數ノ生徒ガアルノデアリマス、然ルニ各地ノ一北海道其他ノ場所ニ收容セシムル爲ニ、此豫算トテハ、眞ニ吾々ハ此高等専門學校ヲ各地ニ置カレタ趣旨トテ、眞ニ吾々ハ此高等専門學校ヲ各地ニ置カレタ趣旨ト云フモノハ、根柢ヨリ覆サレタモノト言ハナケレバナラヌノト云フモノハ、根柢ヨリ覆シテシマッテ、サウシテ大學ヲ造リ上げケリ此豫算ノ内容フ見マスルト、全然其答辯ハ虚偽デアル、是ハ特ニ專攻科ヲ置ク爲ニ、一ツノ建物ヲ建テルダケノ豫算ヨリ此中ニハ要求シテ、ナインデアル(拍手)答辯ニ窮シタ結果、其專攻科ヲ設ケル爲ニ、唯一箇ノ建物ヲ建テル費用ヲ、此神戸ノ高等商業學校ニ收容シ能ハザル者ヲ收容スル爲ニ、此豫算ヲ設ケタナドト云フ詭辯ヲ弄セラレルト云フ事ハ、確ニ此點ニ於テ本案ハ矛盾ガアル(拍手)、非常ナル過チノアル、根本ノ趣意ノ定マツテ居ラヌ案デアルト云フコトヲ、吾々ハ確信ヲシタノデアリマス(拍手)殊ニ諸君ト共ニ最モ考慮シナケレバナラヌ問題ハ、學校ト云フモノハ唯數ヲ増スト云フ事ダケガ教育ノ根本ノ目的ヲ達スルモノデハナイノデアリマス、殊ニ神戸ノ高等商業、大阪ノ高等工業、東京ノ高等工業ノ如キハ、最モ古イ歴史ヲ持チ、日本ニ於ケル専門學校中ニ於ケル最モ古イ歴史ヲ持チ、而モ此學校ニハ各、獨立シタル淳良ナル校風ヲ持テ居る學校デアリマス、此校風ヲ造リ上ダルト云フ事ハ、唯ニ一朝一夕ニシテ爲シ得モノデハナイノデアル、此議場ニオキニナリマスル諸君ニシテモ、早稻田ニハ早稻田ノ校風ガアリ、帝國大學ニハ帝國大學ノ校風アリ、各、其校風ノ發揮シタル思想ヲ持チ、最モ健實ナル茲ニ學校ノ誇リト云フモノハ總テ持テ居ラレルモノデハナイノデアル、此校風ヲ造リ上げ、而モ東京ノ高等工業ノ如キハ、明治十九年頃ノ設立ト思ヒマスルガ、非常ナ古イ歴史ヲ持テ居ル、此學校ニ卒業シタルト云フコトハ、他ノ田舎ノ高等工業學校ヲ卒業シタル者トハ、全ク其權威ヲ異ニシテ居ルガ故ニ、多數ノ希望者ガ之ニ集マルノデアリマス、斯様ナ淳良ナル校風ヲ持チ、而モ多數ノ卒業生ヲ出シテ、今日ハ社會ニ出テ、一大權威ヲ成シテ居ル此專門學校ヲ根柢ヨリ覆シテシマッテ、茲ニ單純ナル學科大學ヲ造り上げテレシマヘバ、初ニ六年計畫ヲ立テラレタ目的ト云フモノハ全然滅却サレテシマフノデアリマス(拍手)ソニヨテ文部大臣ガ御因リニナルト、專門學務局長ガ出テ來テ、ソレハ北海道ノ小樽、名古屋、山口、長崎ニヤル積リデアルト云フ説明ヲサレタ、神戸大阪ニ四分ノ三ヲ占メ、大多數ヲ占メテ居ル此大阪神戸ノ中間ニ在リマス、神戸高等商業學校ヲ志望シテ者ハ、自分ノ子弟ヲ自分ノ脚下ニ於テ教育ヲシタイ

ト云フ爲ニ、斯様ニ多數ノ生徒ガアルノデアリマス、然ルニ各地ノ一北海道其他ノ場所ニ收容セシムル爲ニ、此豫算トテハ、眞ニ吾々ハ此高等専門學校ヲ各地ニ置カレタ趣旨ト云フモノハ、根柢ヨリ覆シテシマッテ、サウシテ大學ヲ造リ上げケリ此豫算ノ内容フ見マスルト、全然其答辯ハ虚偽デアル、是ハ特ニ專攻科ヲ置ク爲ニ、一ツノ建物ヲ建テルダケノ豫算ヨリ此中ニハ要求シテ、ナインデアル(拍手)答辯ニ窮シタ結果、其專攻科ヲ設ケル爲ニ、唯一箇ノ建物ヲ建テル費用ヲ、此神戸ノ高等商業學校ニ收容シ能ハザル者ヲ收容スル爲ニ、此豫算ヲ設ケタナドト云フ詭辯ヲ弄セラレルト云フ事ハ、確ニ此點ニ於テ本案ハ矛盾ガアル(拍手)、非常ナル過チノアル、根本ノ趣意ノ定マツテ居ラヌ案デアルト云フコトヲ、吾々ハ確信ヲシタノデアリマス(拍手)殊ニ諸君ト共ニ最モ考慮シナケレバナラヌ問題ハ、學校ト云フモノハ唯數ヲ増スト云フ事ダケガ教育ノ根本ノ目的ヲ達スルモノデハナイノデアリマス、殊ニ神戸ノ高等商業、大阪ノ高等工業、東京ノ高等工業ノ如キハ、最モ古イ歴史ヲ持チ、日本ニ於ケル専門學校中ニ於ケル最モ古イ歴史ヲ持チ、而モ此學校ニハ各、獨立シタル淳良ナル校風ヲ持テ居る學校デアリマス、此校風ヲ造リ上ダルト云フ事ハ、唯ニ一朝一夕ニシテ爲シ得モノデハナイノデアル、此議場ニオキニナリマスル諸君ニシテモ、早稻田ニハ早稻田ノ校風ガアリ、帝國大學ニハ帝國大學ノ校風アリ、各、其校風ノ發揮シタル思想ヲ持チ、最モ健實ナル茲ニ學校ノ誇リト云フモノハ總テ持テ居ラレルモノデハナイノデアル、此校風ヲ造リ上げ、而モ東京ノ高等工業ノ如キハ、明治十九年頃ノ設立ト思ヒマスルガ、非常ナ古イ歴史ヲ持テ居ル、此學校ニ卒業シタルト云フコトハ、他ノ田舎ノ高等工業學校ヲ卒業シタル者トハ、全ク其權威ヲ異ニシテ居ルガ故ニ、多數ノ希望者ガ之ニ集マルノデアリマス、斯様ナ淳良ナル校風ヲ持チ、而モ多數ノ卒業生ヲ出シテ、今日ハ社會ニ出テ、一大權威ヲ成シテ居ル此專門學校ヲ根柢ヨリ覆シテシマッテ、茲ニ單純ナル學科大學ヲ造り上げテレシマヘバ、初ニ六年計畫ヲ立テラレタ目的ト云フモノハ全然滅却サレテシマフノデアリマス(拍手)ソニヨテ文部大臣ガ御因リニナルト、專門學務局長ガ出テ來テ、ソレハ北海道ノ小樽、名古屋、山口、長崎ニヤル積リデアルト云フ説明ヲサレタ、神戸大阪ニ四分ノ三ヲ占メ、大多數ヲ占メテ居ル此大阪神戸ノ中間ニ在リマス、神戸高等商業學校ヲ志望シテ者ハ、自分ノ子弟ヲ自分ノ脚下ニ於テ教育ヲシタイ

ニ之ヲ繰返シマセス、歯科醫學專門學校ニ至テハ、吾々ハ絕對ニ反對ノ意見ヲ持テ居ル、今日ノ日本ニ於ケル歯醫者ハ、總計ヲ六千人ニ達シテ居ルノアリマス、而モ今後ニ於テ歯醫者ヲ教育スル場所ハドノ位アルカト云ヘバ、學校ハ七ツ、各醫科大學ニ屬シテ居ルモノカ七ツ、或ハ此學校ハ八ツカモ知レマセヌガ、一ツハ出願申カモ知レヌト思フ、斯様ニ澤山ノ學校ガアリテ、之ヲ歐羅巴列國ノ例ニ見マシテモ猶遠ノ如キハ總計デ七千人ヨリ歯醫者ト云フ者ハ無イ、其他列國ニ於テモ、是位ノ數ヲ上下シテ居ルノアリマス、然ニ日本ハ現在ノ學校ヲ卒業スル者デ、此歯科醫學專門學校ヲ大正十三年ニ完成スルマデニハ、少クトモ一万以上リマス、然ルニ尙ホ此上ニ公立ノ學校ヲモ、而モ大學ニ於テ教育ヲ致シテ居リマスル者ト相對抗シテ、文部省内ニ斯様ナモノヲ置クト云フコトハ、此豫算ノ本會議ニ於テ、大口君ガ主張サレマシタ如クニ、所謂豫算ヲ各省ニ於テ分取アズメト云フコトニ歸著スルモノト吾々ハ信ズルノアリマス(拍手)此問題ニ付テハ、文部當局ハ能ク御考ニナシナラバ、此間ニ幾多ノ暗闇ガアルモノナナイカト云フ事ヲ吾々ハ窮ニ憂フフル者デアリマス、斯様ニ見テ參リマスナラバ、本件ノ案ニ對シテハ、吾々ハ何處迄モ其組替ヲ要求シテ、再ビ之ヲ最モ適切ナル實業教育ニ對スル最高ノ學府ニ編成替ラヌルト云フコトハ、文部當局ノ責任デアラウト思フノアリマス、唯最後ニ一言ヲ致シマスルノハ、此問題ハ文部大臣ガ先程述ベラレマシタ如ク、非常ニ苦境ニ陥ラレテ居ル、其苦境ニ陥ラレテ居ルト云フコトヲ救濟スル意味ニ於テ之ヲ出シ、或ハ二枚舌問題デアルトカ、一枚舌ニ非ズト云フコトヲ證明シヤウト云フ意味デ御出シニナシタト云フコトハ、吾々モ之ヲ諒トスルノアハ、併ナカラ既ニ斯ノ如キ杜撰ナルモノヲ出シテ、而モ貴族院ヲ通過シナイト云フコトハ、今日ニ於テモ明瞭ナ案ヲ、唯文部大臣ノ責任ヲ貴族院ニ轉嫁スルガ如キヤリ方ハ、吾々ハ賛成ガ出來ナインデアル(ヒヤー)(拍手)吾々ハ斯ノ如キ不徹底杜撰ナル案ヲ提案サレマシテ、是デ文部大臣ノ二枚舌ヲ綺麗ニ廢治ガ出來ルモノトハ思ハス、或ニ二枚舌ノ療治ヲスルト云フコトハ、徹底的ニ外科手術ノ以テ舌ヲ引抜クヨリ外ニ途ハナイト思フノアル(拍手)

ニ於テ豫メ御断リシテ置タノアリマス、私共ハ此帝國ノ教育問題ハ、實ニ純教育觀ノ立場ニ於テ之ヲ論議スベキモノアルト云フコトヲ年來考へテ居ルノアル、先程砂田君ノ御演説ハ矢張私ト同感デ、純教育觀ト云フ立場ニ於テ、此議論ヲ論ズルト言ハレマシタガ、私ハ極テ同感デアル、此昇格案ニ對スル沿革ヲ見マスルト云フト、是ハ決シテ中橋文部大臣ニ依ダテ起ダクモノデハナインデアル、此起リハ大正七年ノ寺内内閣當時ニ、臨時教育會議が設立サレマシテ、帝國ノ教育ノ大問題ヲ解決スルト云フトキニ於テ、此時ニ我ガ大學令ヲ改正致シマシテ、我ガ帝國ノ大學ハ、綜合大學制ヲ採ルカ、單科大學制ヲ採ルカト云フコトハ、殆ド二十年來ノ懸案デアタノアリマス、私共、北海道大學ヲ創設サレル時分ニ屢々、當局者ト此問題ニ付テ折衝ヲ致シタノアリマスガ、此綜合大學ト云フコトハ、元來ハ是ガ眞ノ最高文教ノ研究ノ府ト致シマシテハ、此綜合大學制ト云フモノガ、之ガ本則デアル、併ナガラ單科大學ヲ許スヤ否ヤト云フコトモ、亦時勢ノ進運、又帝國ノ教育ノ狀態ニ鑑ミテ、此單科大學ヲ許スガ宜シイカ否ヤト云フコト、此問題が臨時教育會ノ重大ナ問題デアタ、然ルニ臨時教育會ニ於キマシテハ、綜合大學ト同時ニ、單科大學ヲ認メルト云フ所ノ新學令ガ發布サレタノガ、即チ大正七年ノ一月デアル、大正七年ニ此大學令が改正サレルト同時ニ、單科大學ヲ許スト云フ以上ハドノ方面デモ其資格、內容、設備ノ整タモノハ、悉ク大學ニ昇格スル希望ヲ持ツコトハ、當然ノ歸結デアルノデアリマシテ、決シテ中橋文相ノ二枚舌云々ニ依テ問題ノヲ悉ク昇格サセタ、醫學者専門學校ヲ昇格シ、一つ橋ノテアリマス（責任者ハ誰ダ）「默ニテ聽ケ」（下呼フ者アリ拍手）等教育ノ擴張ノトキニ於テハ、醫學專門學校ヲ皆ナ昇格致シ、名古屋ノ醫學專門學校、或ハ京都ノ醫專、是等ノモ大學ヲ許スコトガ宜シトイシタナラバ、ドレーノモノヲ許シテ宜シイカト云フコトハ、此一事ヲ以テ明カデアルノ君等ハ攻撃シナイカラマア安心シ給ヘンレデ然ラバ單科大學ヲ許スコトガ宜シトイシタナラバ、ドレーノモノヲ許シテアリマス（責任者ハ誰ダ）「默ニテ聽ケ」（下呼フ者アリ拍手）等教育ノ擴張ノトキニ於テハ、醫學專門學校ヲ皆ナ昇格致シ、名古屋ノ醫學專門學校、或ハ京都ノ醫專、是等ノモ東京高等商業學校ヲ昇格致シタノアル、既ニ此醫學專門學校ヲ單科トシテ昇格スル以上ニ、又一ツ橋ノ高等商業學校、之ヲ大學トスル以上ニ於テハ、此外ノ是等ト同等若クハ同等以上ノ內容設備ヲ備ヘタル所ノ學校ハ之ヲ昇格スルト云フコトハ、是ハ當然ノ歸結デアル（拍手）何等此間ニ疑ヒハナイノアル、故ニ藏前ノ高等工業ノ如キハ其當時カラシニ、藏前ノ高等工業ノ卒業者四千幾人同属シテ、又先輩其他有識者ト共ニ圓滿テ、既ニ其當時ニ於テ此工業大學ノ設立ヲスル希望ト云フモノヲ世ノ中ニ發表ヲ致シテ居ル、是ハ即チ大正八年ノ一月デアル、大正七年ノ十二月

ニ單科大學令ガ發布サレテ、大正八年一月ニ藏前ノ工業會ガ決議ヲサレテ居ル「本會ハ工業立國ノ國是ト母校發達ノ歴史ニ鑑ミ母校ノ現制度ニテハ時勢ニ適切ナル工業教育ノ效果ヲ舉タルコト不可能ナリト信ス仍テ速ニ現制度ヲ改メテ單科大學ノ必要緊切ナルヲ認ム仍テ極力其ノ目的の貫徹ヲ期ス」ト云フノガ大正八年一月デアル、此時ニ既ニ藏前高等工業學校デモ、或ハ神戸ノ商業學校デモ、單科大學ニナルト云フコトノ希望ヲ實現ヲ其時カラ期シテ居ルタニ、神戸ノ學校職員其他關係者ニ對シテ、神戸ノ商業學校中橋文相ガ或ル場合ニ藏前工業ノ關係者ニ藏前工業ヲ單科大學ニスル希望ヲ持テ居ル、神戸ニ出張ヲ致シタキニ、神戸ノ學校職員其他關係者ニ對シテ、神戸ノ商業學校中橋文相ガ或ル場合ニ藏前工業ノ關係者ニ藏前工業ヲ所謂商業大學ニスルト云フ希望ヲ持テ居ルト云フ話ヲシタ、之ガ何ガ二枚舌ニナルノデアルカ、政府ガ當然ニヤラウト云フ希望ト、方針ヲ詰シタクテ何モ差支ナイ、ソレガ大正十年度ノ豫算ニ出ナカッタト云フノデ、此事ガ貴族院ノ問題トナックタノデアリマス、併シ貴族院ノ問題ニナックタト云フノハ其當時ニ於テ文部省ニ於テハ十年度ニ於テ昇格スル積リデアッタ、其方針ニ進メテ居タ、所ガ種々ナル機關ヲ經、種種ナル調査ヲシヤウト云フ考ヲ詰シタト云フコトハ、幾ラモ例ノ度ノ豫算ニ計上サレナカッタト云フ爲ニ、各學校ガ非常ニ紛糾ヲ起シタト云フノガ、之ガ世間ニ云フ昇格運動ト高唱シテ居ルノデアル、併シ之ガ文部ノ當局者ガ、自分ノ方針ヲ斯様ナ事ヲシヤウト云フ考ヲ詰シタト云フコトハ、幾ラモ例ノアルコトデアル、屢々之ガ貴族院ニ於テ、原首相ガ辯難應答シタ、吾々ハ斯様ナ事ヲシヤウト思ッタガ、來年度ノ豫算ニ於テヤラウト思ッタガ出來ナカッタ、來々年度ノ豫算ニ必ジ出スト云フコトデ、之ガ本年度又調査ガ不十分デアッタ、マダ調査ガ出来ナイト云フノデ、初テ教官評議委員會ヲ組織シテ總テモノノ調査致シテ、此議會ノ劈頭ニ出スト云フノデアル、タガ、尙ホ議會ノ劈頭ニ出ス時機ニ達シナカッタ、ソレハ教育評議委員會ノ調査ガ結了セズ、此案ノ決定ヲ見ナイ爲ニ、不都合デアルカ、何ガ之ガ文部大臣ノ食言ト云フコトガ出来ルノデアル、極テ事理明白ナ事デアル

（柏谷副議長議長席ヲ退キ奥議長復席）

對シテ、政府ニ措置ヲ執レト云フノハ、之ガ彈劾的ノ決議案デアルトカ、何故彈劾的ノ決議デアルナラバ、之ヲ彈劾的ノ決議ニシナイナルカ、之ニ依テ吾々ハ此不公平ナルコトヲ、此一黠モ證據立テルコトガ出來ル、殊ニ中橋文相ガ先日以來、大磯二行シタマツタト稱スル、此大磯三行シタマツタノハ、何デ行タルカ所勞シタマツタ行シタマツタトカ、辭意シタマツタ行シタマツタトカ云フコトガ、二日モ三日モ論議スルト云フコトハ、貴族院ハ民意ヲ代表セザルモノトシテモ、民衆ニ媚ビズ、公明正大ノ見地ニ立シタマツタテ、堂々トシテ國家國策ニ對應スル所ノ議論ヲシテ、初テ天下ニ權威ダアルノデアリマス、若シ今日ノ如キ不公ナリテ、態度ヲ執シタマツタテ行クナラバ、早晚ハ貴族院ニ對シテモ、何等カシタマツタ變動ガ起ラザルヲ得ナイモノト吾々ハ信ズルノアリマス、諸君千九百十一年ニ英國ノ立憲政治英國ノ議會ニ於キマシテハ如何ナル事ガアリマシタカ、衆議院ニ對シテノ豫算ヲ故ナクシテ貴族院ガ否決シタ上云フカ爲ニ、遂三千九百十一年「アスキス」内閣ノ當時「ロイドジョージ」氏が此詰リ貴族院ノ改革案ヲ提ゲテ、サウシテ幾度カ闘シタマツタテ議會ヲ解散シタ、結果ニ於キマシテハ如何シテ、金錢法案ニ關スル問題ハ貴族院ハ之ヲ論議スルコトナシ、貴族院ハ之ヲ拒否スルノ權利ハナイ、否決スル權利ハナイ、千九百十一年ニ於テ之ガ英國ノ立憲政治ニ於テ、貴族院ハ出來ナシ、否決スルコトガ出來ナシ、貴族院ノ否決權ヲ取去タト云フコトハ御承知デアラウ、又金錢法案ニ關スルト云フコトハ豫算ノミテハナイ、豫算ノ數字ニ關スル所ノ法案トスル者ハアリマセケレドモ、苟モ租稅ヲ出ス所ノ衆議院先議權ヲ持テ居ル所ノ衆議院ニ於テ、公明正大ニ論議院ノ態度デヤリ給へ——此昇格問題ナ内容ニ付テ色々ニ譲論ガアリマス、先づ此文理科大學設置ニ付テ議論ガ非常ニアル是ハ成程文理科大學ニ云フモノヲ、今直ニ設立スルト云ハ衆議院ダ、問題ハ違フシタマツタト呼フ者アリ、衆議院ナラ衆議院シタ案ヲ之ヲ唯徒ニ不公平ナル見地ニ依テ、闇黒カラ闇黒、闇カラ闇ニ葬リ去ルト云フガ如キ事ハ、斷ジテ許スコトノ出來ナイモノデアルト吾々ハ信ズル者アリマス（拍手）此處コトハ、是ハ過渡時代デアリマスカラ、多少議論ノアルコトハ免レナイダ、是ハ詰リ高等學校ノ卒業者ノ中カラ之ニ入學志願者ヲ人レル、或ハ師範教育ヲ受ケタ者ノ中カラ志願者ヲ文理科大學ニ入レルト云フコトデ、是ハ多少其所ニ才盾ガアルガ如ク見エル、一方ハ十一年、一方ハ九年ト云フコトニナルダ、併ナガラ此帝國ノ教育ノ見地カラ立シタマツタテ見マシタラバ、現在中等教員ノ非常ナ缺乏感ジテ居ルコト、又知識ノ非常ニ足りナイト云フ缺陷ノアルト云フコトハ、諸君ハ御承知デアラウト思フ、是ハ臨時教育調査會ニ於テ、專攻科ヲ設ケテ尙ホ一層内容ヲ改善スベシト云フ決議ニナシテ居ルノデアル、此點ニ於テ當局者ハ此臨時教育調査會ノ決議ノ趣意ニ基イテ、專攻科ト云フモノヲ更メテ、此單科大學制度ニ引直スト云フノデアルノアリマス、此單科大學制度ニ引直セバ、高等師範ヲ卒業シタ者モ、高

臺灣私設鐵道補助法案（政府提出）

第一讀會ノ續(委員長報告)

臺灣私設鐵道補助法案(政府提出)
右八本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告
候也

臺灣私設鐵道補助法案委員長
反本素魯岱

衆議院議長奥繁三郎殿

古來此精鍊方法ト云フ風タモノ也非常ナル特徴ノ發達ヲ致シテ居リマスルガ、殊ニ維新以後ニ於キマシテハ、西洋ノ理學化ノ應用ニ依リマシテ、今日ニ至リマシテハ、此銅ノ精鍊技術ト云フモノへ、我國ニ於テハ世界ニ初智ニ非ズシテ、大ニ教フベキ進歩シタノアリマス、隨テ從来會て精鍊サレナカツタヤウナ非常ナル含有少量ノ貧鑛ト云フモノモ完至ニ處理致サレマシテ、同銅鑛ニ伴フ所ノ金鑛、若クハ亞鉛或ハ「アルセニック」ト云フヤウナ從來古人ハ捨テ、居タヤウナ貴重ナル副產物ガ、悉ク採取セラル、コトニナシケンアリマス、今日我國ニ於テ產出スル金及銀ノ年額二千万圓ノ大部分ハ、此銅ヲ採取シテ出ル所ノ副產物アリマス、而シテ銅ノ工業ニ至リマシテハ、或ハ銅線、銅管ト云フヤウナモノ、或ハ「ケーブル」線ト云フヤウナモノニ至リマシテモ、極テ精巧ナル製品ヲ作ルコトが出来未テ、海外ニ輸出シテ居ルノデアリマス、新様ナ次第デアリマスカラ、此生産事業モ、非常ニ進歩致シマシテ、今日デヘ過去十數年ニ涉テ、尙ホ海外ニ輸出ラシテハ既ニ内地ノ需要ヲ完全ニ充タシ、尙ホ海外ニ輸出ラシテ居ダナデアリマス、世界全體ノ銅產出額カラ致シマシテ、亞米利加ハ世界ノ七割ヲ產出シテ第一ニ居リ、其次ハ日本ガ世界ノ總產額ノ百分八ヲ產出致シマシテ、第二ニナツテ居ルノデアリマス、日本ガ第二ナル所ノ位置ト云フモノハ、過去十數年ニ涉テ會テ一回南米智利ニ依シテ取ラレタコトガアルダケニアリマシテ、常ニ亞米利加ニ亞イデ世界ノ筆頭ナル銅生産國トナツテ居ルノデアリマス、ソコデ我國產業ノ數多々アリト雖モ、農產界ニ於ケル生絲及織業界ニ於ケル銅ノミカ、完全ニ自國ノ原料ヲ使用シテ、自國ノ人民ニ十分ナル需要ヲ供給シ、尙ホ其餘リヲ以テ世界ニ輸出ラシテ居ルノデアリマス、然ルニ戰後ニ至リマシテ、世界ノ經濟界ノ變動ニ依リテ、茲ニ正常ナル銅鑛業ノ打撃ヲ來タシマシタコトハ當然アリマスルガ、殊ニ戰爭中ニ外國、就中米國ガ軍需ノ爲ニ非常ニ作ラセ置キマシタル所ノ過剰ノ銅、此銅ノ處分スルガ爲ニ、其販路ニ苦シニ、洋上ニ持チ來テ有ユル低價ヲ以テ我國ニ侵入セントスルニ至リマシテ爲ニ、遂ニ日本ノ銅鑛業界ニ於テハ會テ知テ知ラザル所ノ非常ナル困難ニ陥シテアリマス、今日ニ於キマシテハ全國ノ銅山百三十一箇所ノ中、採掘シテ居ルモノガ僅ニ五十箇所ニナリ、全國ノ銅精鍊所五十箇所ノ中、僅ニ二十箇所が殘シテ茲ニ日本ノ銅鑛業界ニ於テハ會テ知テ知ラザル所ノ非常ナル鑛業デアリ、且ツ其資本等モ相當ニ融通ノ出來ル關係カラシテ今日ニ在ルノデアリマスガ、ソレ等ガ利益ヲ以テ作業シテ居ルカト云フト、決シテサウデモナイノアリマス、ソレハ皆損失ヲ以テ營業シテ居ルノデアリマスルガ、労働者或ハ從業者ノ處分ノ困難ナルコト、並ニ一旦鑛業ヲ廢止スルトキニ於テヘ、之ヲ再開スル場合ニ非常ナル費用ヲ要スルト云フ關係カラシテ、已ムヲ得ズ、今日事業ヲ繼續シテ居ルノデアリマス、暫シガラニラ此鑛ニ等閑ニ付シテ置キマスルト、

是等モ亦今後二三年ノ間ニハ、或ハ事業ヲ止メルデアリマス
ト思ヒマス、只今デハ一時ノ半額ノ銅ヲ生産致シテ居ルノ
デアリマスガ、是モ近キ將來ニハ、或ハ今昔フ通り全滅スル
カモ知レナリノデアリマス、銅ハ日本ノ今日ノ製造能力ハ約
十万噸デ、此完全ナル生産能カヲ發揮シマシタノハ、大正
五六年ノ頃デアリマス、此價額ト云フモノハ大概一億數千
万圓ニ達シテ居ルノデアリマス其輸出ハ一番盛ンナノハ大
正七八年ノ頃デアリマシテ、其場合ニハ矢張一億圓以上ノ
輸出ヲ爲シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ナ狀態ニ在ル所
ノ我國重要ナル產業タル銅鑄業ヲ、此鑄等閑ニ付スルト云
フコトハ、是ハ單ニ大ニ事業當局者ノ利害關係ノミナラズ、
我國產業政策ノ見地カラ致シテ相成ラスト云フコトデ、政
府ハ此案ヲ提出致シタノデアリマス、但シ外國銅ガ内地ニ
侵入スルト云フコトハ、最近數年間ノ事アリマシテ、從來
會テサウ云フ事ハナカダノデアル、ソレ故ニモウ少シ市場ガ
落付イタナラバ、或ハ此外國銅侵入ト云フコトガ、サウ長ク
繼續スルモノデナイカ知ラスト云フ茲ニ疑問ガアリマスル爲
ニ、此法案ノ實行期間ハ一時ト云フコトニシテ居ルノデアリ
マス、ソレ故ニ外國銅侵入ノ危害ガ除カレル場合ニ於テハ、
其際ニ適當ノ改正ヲシャウト云フ案アリマス、委員會ハ
此案ヲ審議スルニ當リマシテ、最モ深キ注意ヲ拂フ點ハ言
フマデモナクニシテアルノデアリマス、其第一ハ此關稅改正、
サル、所、政府ノ應答スル所、並ニ此議論ノ生ジタル點モ、
即チ關稅ノ増加ノ由テ來ル所ハ、ドウ云フ所ニ在ルカ、其根
據並ニ其程度ガ果シテ適當ナリヤ否ヤト云フコトデアリマ
ス、第二ニハ斯ノ如キ政策ガ物價政策上並ニ國家經濟上
利害如何ト云フコトデアリマス、ソレ故ニ委員諸君ノ質問
サル、所、政府ノ應答スル所、並ニ此議論ノ生ジタル點モ、
専ラ此二點デアルノデアリマス、其第一ノ問題ニ付
キマシテ、大體政府案ヲ見レバ、銅ガ百斤一圓二十錢デア
タモノヲ、今回七圓ニ改マタイト云フノデアリマス、是ガ根柢
デアブ、其外ニ銅ノ製品若クハ合金ト云フモノハ之ニ準シ
テ直ラ此居ルノデアリマスカラ、之ヲ論據ニ致スノデアリマス、
而シテ之ガドウ云フ理由デ、七圓ニナクカト云フト、外國カ
ラ這入ル所ノ銅ト云フモノハ、外國殊ニ米國カラ這入ル
所ノ銅ト云フモノハ、百斤三十八圓、日本デ今幾ラデ出來
ルカト申シマスルト云フト、一年ニ一千萬斤以上ヲ產出ス
ル所ノ銅精鍊所ノ合計ノ統計ニ依リマスルト、四十五圓掛
ル、サウスルト茲ニ七圓ノ差ヲ生ズル、故ニ七圓ト定メタノデ
アル、然ラバ、其根據ハ分々タカ、斯ル急激ナル増額ハ適當ナ
リヤ、斯ウ云アコトニ付テ議論ヲ生ジタノデアリマス、併シ多
數ノ意見ハ一體從前銅百斤カ一圓二十錢ト云フガ如キハ
非常ナル低落デアル、價格ニ對シテ僅ニ三分ニシカ當ラヌト
云フ風ナ税ハ、世界ノ文明國ニアルベカラザル關稅デアル、
ウ云フ譯デアルカ、是ハ日本ガ維新前ノ習慣、維新前ニ外
國ト結ビタル其時ノ事情ニ依テ出來タル、五分率、其五

分率ノ明治ノ初年ニ於ケル所ノ非常ナル安イ値、ソレヲ基礎ニシテ出來タ案デアルカラ、非常ニ低イノデアリマス、此低イ銅ノ税率ト云フモノガ、今日迄世間ニ何等苦痛ヲ感ゼラレナカッタ所以ノモノハ、即チ我國ハ輸出國ニアズダ、輸入國ニアラザシ關係ニアルノデアリマス、而シテ今之ヲ七圓ニスル場合ニ於テハ、如何ナル税率ニナルカト申シマスレバ、税率ハ三十八圓ニ對シテ七圓ハ、即チ一割八分デアルヘ一割八分ト云フ税率ガ抑、税率トシテ如何ナルモノアルカト申シマスレバ、斯ノ如ク重大ナル國家ノ產業ヲ保護アル所謂保護稅トシテハ殆ド稀ニ見ル所ノ低率デアルノデアリマス、御承知ノ通り戰後ノ經營ニ於ケル世界各國ノ稅率ヲ御覽ニナリマシテモ分ル、此保護ヲ必要トスル場合ニ於テハ、何レモ一割以上三割若クハ四割ヲ要求スルノハ當然デアルガ、此一割八分殊ニ今回ノ増額ハ一圓二十錢ヲ七圓ニスルノデアルカラ、一割五分ノ増額ニ過ギナインデアル、斯ウ云フコトヲ諒解致シマシテ、委員ノ多數ノ方ハ、第一ノ問題ニ對シテハ諒解シタノデアリマス、第二ノ問題ハ是ハ大切ナ問題デ、物價政策上利害如何、之ニ付テ攻究ヲ致シマシタ所ガ、成程假令一割五分ナリト雖モ茲ニ増額ノスルノデアル、其期間ト雖モ茲ニ或ル期間ハ此法律ヲ施行スルノデアリマスカラ、ソレダケノ間ハソレダケノ量ハ矢張銅ニ使ハレルモノデアル、電氣事業ノ企業費ノ何程ヲ占ムルかト云ヘバ、統計ニ依リマスト電氣企業費ノ約十分ノ一ト云モノハ、銅ノ爲ニ使ハレル費用デアル、其十分ノ一ノ費用ヲ占ムル所ノ銅ガ一割五分増額ヲ云フモノハ、電氣事業ニ使ハレルモノニ於テ百分之一、五ヲ増スコトニナルノデアリマス、此關係ハ甚ダ輕キモノデアルト云フコトヲ見ラレマス、次ニ日本ベ倫敦デアル、其紐育或ハ倫敦ノ價格ヲ標準トシテ、ソレヨリ運貨ヲ差引イタモノガ、即チ日本ノ銅ノ價格アルノデアリマス、而シテ其絕對的ノ價格ハドウデアルカト申シマスト、日本銀行ノ指標ヘマシタル物價指數表ニ依リマスルト、是ハ大正十年十二月ノ物價ヲ取リ、而シテ明治三十三年十月ノ物價ヲ百！看做シテ、重要ナル日本ノ物資ノ價格が何程デルカヲ見マスト云フト、米ハ三百二十四、即チ大正十年十二月が明治三十三年十月ニ比シテ總ノ物價ガ三倍餘ニナツ居ハ三百十五、木材ハ三百四十四、洋紙卽チ紙ハ三百十六石炭ガ三百十、銅ガ百零九、而シテ重要品五十六種ノ平均ガ二百七十六、九五、斯ウ云フ風ニ昨年ノ十二月ハ明治三十三年ニ比シテ總ノ物價ガ三倍以上ニナリ、而モ其五六種ノ平均ガ一百六十七十二ナツ居ルニモ拘ラズ、銅ハ

大正十一年三月十四日

三

健康保険法案委員長
鳩山一郎

衆議院議長與繁三郎殿
一郎君登壇】

○鳩山一郎君 健康保険法案ノ委員會ノ經過ヲ御報告

○議長（奥繁三郎君）　本案ノ第二讀會ヲ開クヤ否ヤヲ
御詰リシマス
〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(奥繁三郎君) 第二讀會ヲ開クニ御
マヌケ、乃チ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○岩崎勳君　直ニ本案ノ第一讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省

略シテ、委員長報告通り可決確定アランエトヲ望ミマス
〔賛成々々ト呼フ者アリ〕

○議長（奥繁三郎君）岩崎君ノ動議ニ御異議ナシト
メマス、仍テ直ニ本案ノ第一讀會ヲ開キマス

建康保僉去繁

第二讀會（確定議）

○鳩山一郎君 健康保険法案ノ委員會ノ經過ヲ御報告致シマス、此法律案ハ災害保険ノ一部ト疾病保険トヲ同時ニ行ハントスルモノニアリマス、即チ労働者ノ一時的疾患又負傷ニ因ル短期ノ障害之ニ對シテ救濟ヲ與ヘントスルモノニアリマス、尙ホ是ト同時ニ死亡及分娩ニ對シテモ救濟スルコトニナラテ居ルノニアリマス、工場法ト鑛業法ニ於キマシテモ、労働者ニ對スル救濟ガ規定セラレテ居ルノニアリマスガ、此法律案ガ可決ニナリマシタ後ニハ、其重複スル部分ハ兩法共改正サレルコトニナルノニアリマス、而シテ此救濟ヲ受ケル権利ヲ労働者ノ合法上ノ権利トシテ認メントスルモノニアリルノニアリマス、本法ノ適法ノ範圍ハ工場法ト鑛業法ノ適用ヲ受ケル工場及事業場ニ從事スル所ノ労働者及下級職員ニ對シテ先づ適用シテ、之ニ對シテハ強制的ニ之ヲ適用スルノニアリマス、此以外ノ工業的起業ニ於ケル労働者及下級職員ニ對シテハ、認可ヲ得テ、包括的ニ加入ヲ許サル、コトニナルノニアリマス、本法ニ於キマシテ危念思ハ

〔賛成ト呼ナ者アリ〕

午後五時四十一分散會

規定ガセラレテ居ルノデアリマス、尙假病取締ノ爲ニ大規模ノ工場及事業場ニ於キマシテハ、之ニ健康保險組合ト云フモノヲ設立サシテ、相互組合ニ依テ此危險ヲ除カントシテ居ルノデアル、其以外ノ労働者ニ對シテハ、官營ヲ以テ

之ヲ行ハシトシテ居ルノデアリマス、本案ニ於キマスル保険
給付ハ、疾病、負傷ニ對シテハ療養トシテ日給ノ六割、ソレ
カラ死亡ニ對シマシテハ日給ノ二十日分ノ埋葬料ヲ給スル
コトニナツテ居リマス、分娩ニ關シマシテハ、二十圓ノ分娩費
ト日給ノ六割ニ當ル出産手當ト云フモノヲ出スコトニナツテ
居リマス、次ニ費用ノ負擔アリマスガ、費用ノ負擔ニ付キ
マシテ保険給付ノ一割ヲ政府ニ於テ負擔スル、尙ほ監督費
モ政府ニ於テ負擔スル、其殘額ヲ工場主ト職工ニ依テ、原
則トシテ半分宛負擔スルト云フコトニナツテ居リマス、ソレ以
上ニ特別ノ場合ニ於テ工場主ニ於テ出スト云フコトニナツテ
居ルノデアリマス、尙ホ爭議ノ審査ニ付テハ健康保険審査
會ト云フモノヲ設ケテ、普通ノ裁判手續ニ依ル以外ニ、迅
速ニ簡易ニ審査ヲセシムル爲ニ、此委員會ヲ設ケルコトニ
ナツテ居リマス、要スルニ本案ハ先刻申シマシタ急業ノ獎勵
ニナリハシマイカト云フコトヲ一部ノ人ガ考ヘル以外ニ於キ
マシテハ、一般ニ社會政策ノ重要ナル一ツノ方法トシテ、之
ヲ研究セラレタル原内閣、之ヲ立案シテ提出セラレタル高
橋内閣ノ功績ノ上ニ特筆大書スベキモノアルト云フコト
ヲ一般ニ考ヘテ居ル事ト存ジテ居リマス、委員會ニ於キマシ

午後五時四十一分散會

午後五時四十一分散會